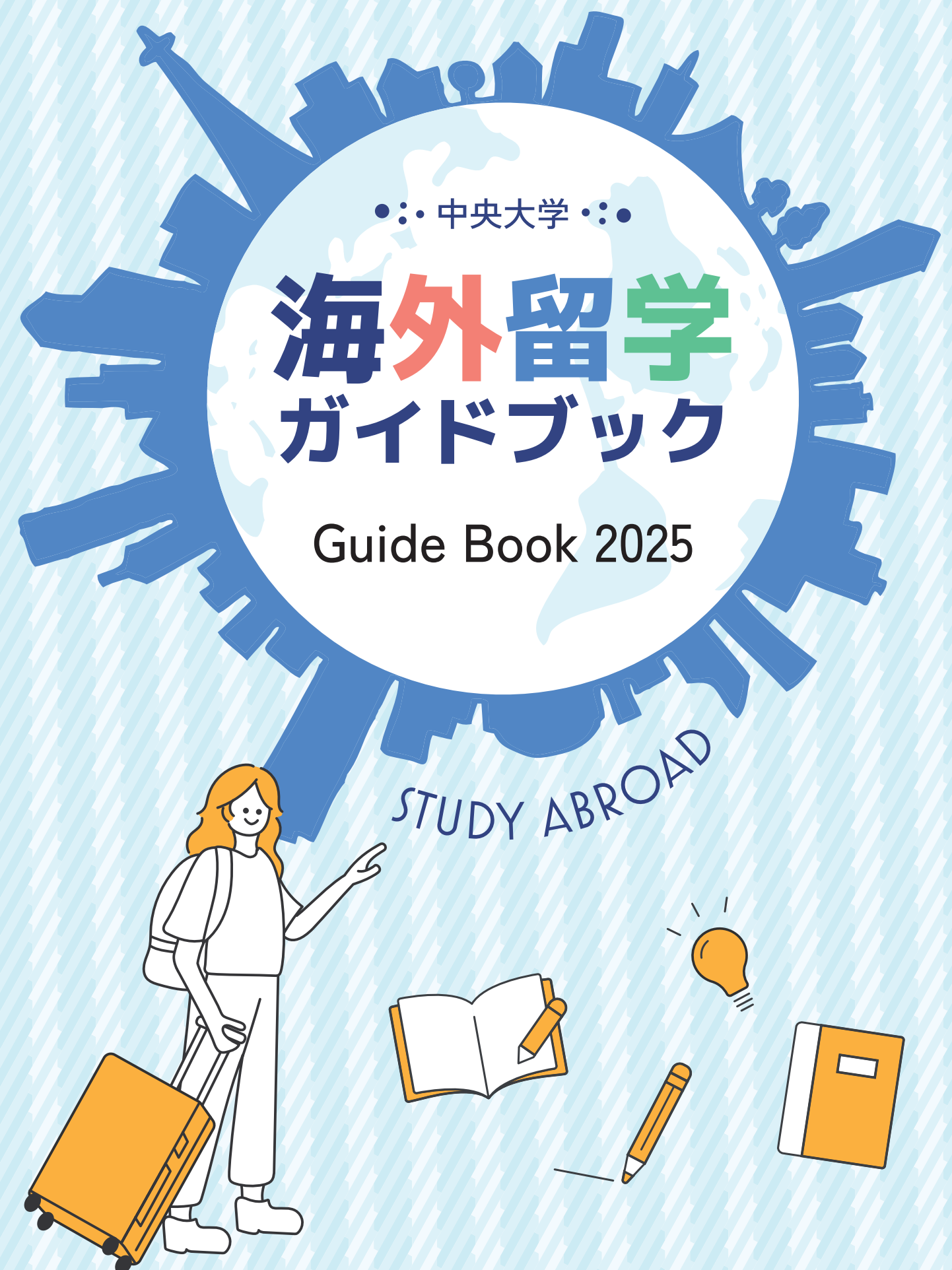


STUDY ABROAD
Guide Book 2025



発行日 2025年3月
発行 中央大学国際センター
〒192-0393 東京都八王子市東中野742-1
TEL:042-674-2211 FAX:042-674-2214
E-mail:cic-haken-grpアットマークg.chuo-
u.ac.jp URL:http://www.chuo-u.ac.jp

CONTENTS

1. 留学のファーストステップ P.1 ～ 4

- ・海外留学すべき 5 つの理由
- ・数字で見る中大の留学
- ・留学のプログラムを知ろう！
- ・留学情報収集ってどうするの？

2. 長期留学プログラム P.5 ～ 8

- ・交換留学
- ・協定校一覧
- ・ISEP 留学
- ・認定留学

3. 短期留学プログラム P.9 ～ 10

4. 各学部主催海外派遣プログラム P.11 ～ 12

5. 各制度の比較と留学のロードマップなど P.13 ～ 17

- ・長期留学（交換留学・ISEP 留学・認定留学）、語学留学（休学）、短期留学制度の比較
- ・留学計画から実現までのタイムテーブル
- ・留学のロードマップ・モデルケース
- ・様々な留学のメリット・デメリット

6. 先輩たちの体験記 P.18 ～ 23

7. その他 P.24 ～ 33

- ・交換留学の費用について
- ・留学のための奨学金
- ・就職活動について
- ・外国語講座について
- ・G スクエア・国際教育寮について
- ・留学イベント
- ・海外留学 FAQ

8. 2025年度秋派遣・2025年度春派遣協定校別募集条件一覧 P.34 ～ 41

9. 国外留学にかかる中央大学学則・規則等 P.42

なぜ今、海外で学ぶのか？

～留学を悩むあなたへの応援メッセージ～



海外留学促進プロジェクト小委員会委員長
斎藤 裕紀恵 教授（国際情報学部教授）

● 留学で広がる未来の可能性

大学生活は、自分を成長させ、可能性を切り拓く貴重な時間です。その中でも、海外留学は、異文化の中で学び、多様な価値観に触れる絶好の機会です。本学では、短期から長期まで幅広いプログラムを提供し、学生一人一人の挑戦を支えています。

私自身、国際情報学部で短期留学プログラムのコーディネートを担当しています。実際に留学に参加した学生たちが、経験を通じて自信をつけ、大きく成長していく姿を間近で見てきました。特に、本学の交換留学制度を利用して長期留学を経験した学生たちは、異なる文化や価値観の中で自己を見つめ直し、大きな視野を得ています。そして、その経験を土台に、帰国後はさらに海外大学院へ進学するなど、自らの可能性を広げ、大きな飛躍を遂げています。こうした成長のプロセスを目の当たりにするたびに、留学が持つ力を実感しています。

● 留学が育む成長ストーリー

留学を通じて得られる最大の収穫は「視野の広がり」です。異文化の中で生活し、多様な背景を持つ人々と交流することで、自分の考えや価値観を見直し、新たな視点を得ることができます。この経験は、複雑な問題に柔軟に対応する力を育み、現代のグローバル社会で重要な「多様性の理解」を深めるきっかけとなります。さらに、留学は英語力や専門知識を実践の中で磨く絶好の機会です。また、他言語を学ぶ学生にとっては、現地の言語を使った学びや交流を通じて、実践的なスキルを身につける貴重な体験となります。海外の大学でのディスカッションやプロジェクト型授業は、コミュニケーション能力を飛躍的に向上させ、自発的に学ぶ力を養います。この経験は、将来のキャリアにおいても大きな強みとなるでしょう。

もちろん、留学には不安も伴います。言語や生活面での課題、新しい環境への適応など、さまざまな問題に直面するかもしれません。しかし、それらを乗り越えた先には、「自信」や「適応力」といった大きな成果が待っています。困難に挑むことで、自己成長を実感し、人生を豊かにする力となるのです。

最後に、留学は「挑戦」の場であり、「学び」の場であり、「自分自身を発見する場」です。一步踏み出すことで、新たな世界が広がります。留学は、自分自身を成長させ、未来への可能性を広げる挑戦です。新しい環境での経験は、あなたの視野を広げ、生涯忘れられない宝物となるでしょう。世界があなたを待っています。さあ、一步を踏み出しませんか？

1. First step to study abroad

留学のファーストステップ

海外留学すべき 5 つの理由

留学での学びや経験は、自分の可能性を広げてくれると共に、成長する自分を発見できる絶好の機会です。留学を通じて、今までに知らなかったことを学び、将来に向けた一步を踏み出してみませんか？



実践的なコミュニケーションスキルを身につけることができる

留学中は、日々の授業や生活で現地の言語を使うこととなるため、座学では得られないより実践的な言語運用能力が身につけることができ、スピーキングやリスニング能力を大きく向上させることが期待されます。また、異なる文化的背景を持つ人々とのコミュニケーションでは、相手の文化や習慣を理解することが重要となります。例えば、日常の挨拶やジェスチャーの一つをとっても、国や地域によって異なります。相手を尊重し、互いの違いを理解しながら、自分の意図を適切に相手に伝えるためのスキルも養いましょう。



多様な考え方や価値観に触れ、それらを受け入れることができるようになる

留学は、多様な考え方や価値観に触れられる絶好の機会でもあります。グローバル化が進む現代において、柔軟な思考や異文化への理解はますます重要となってきています。多様なバックグラウンドを持つ他国の学生と共に学ぶ生活することで、自分の価値観が広がるとともに、より多様性を受け入れることができるようになることでしょう。



中央大学とは異なる世界の学修環境で学ぶことができる。

海外の大学では、アクティブ・ラーニングやディスカッション中心の授業が多く、他国の学生を相手に自分の意見を積極的に発言することが求められたり、プロジェクトに共同で取り組む機会もあり、日本での学びとは異なる環境で知的刺激を受けることでしょう。一方で、日本国内では学問として確立していない分野や、最新の研究を取り入れたカリキュラムが提供されている場合があります。自身の学びや研究をさらに深化させる機会となることや最先端の研究に触れられることも大きなメリットです。



自分に自信がつき、未来への大きな一歩となる

留学中には、これまでに述べてきたような異なる文化への理解や環境への対応、留学先の方々とのコミュニケーションに加え、時には困難な場面に直面することもあります。これらを乗り越えることで自信が高まり、未来に向けてより力強い一歩を踏み出すことができるようになります。留学中に培われる各種スキルや経験は、将来のキャリアや人生においてプラスとなり、自信へとつながることでしょう。



国内にとどまらない仲間と共に成長し、将来にわたる人間関係を構築できる

留学は将来にわたる人間関係を築く場でもあります。留学中は、国内だけでは出会えないような同じ目標を持つ多様な仲間と共に挑戦し、支え合うことができます。互いのバックグラウンドや経験を共有することで、深い絆が生まれ、生涯に渡る友人関係を築くことができるはずです。

数字で見る「中大の留学」

● 2023年度留学派遣人数

留学の種類	時期	派遣人数	全
交換留学・ISEP 留学	春派遣	14 人	129 人
	秋派遣	110 人	
認定留学	春派遣	2 人	
	秋派遣	3 人	
学部主催プログラム		620 人	

● 2024年度留学派遣人数

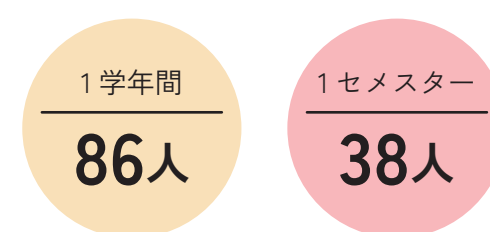
留学の種類	時期	派遣人数	全
短期留学	2024 年夏季	190 人	309 人
	2025 年春季	119 人	

● 2024年度長期留学（交換留学・ISEP留学）応募について

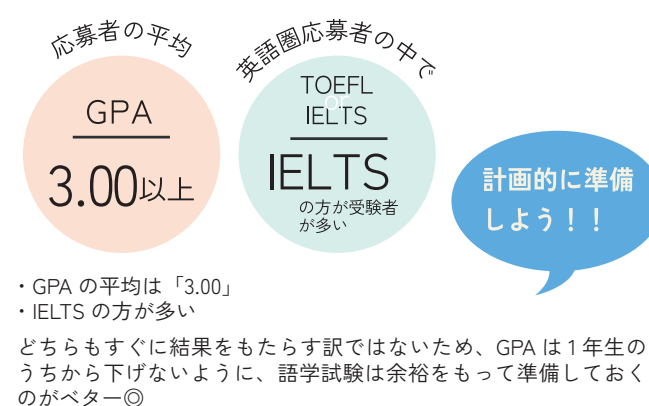
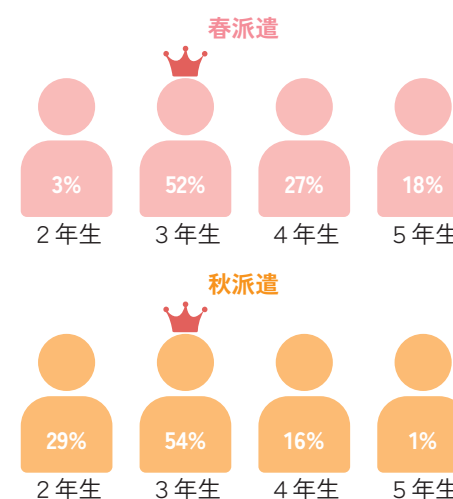
どこの国・地域が人気？

1 位	アメリカ	25 人
2 位	イギリス	11 人
3 位	ドイツ	10 人
4 位	オーストラリア	7 人
4 位	韓 国	7 人

留学期間は？



留学に行く学年



中大の協定校・機関数は？

世界 41 の国と地域、217 の大学・機関と協定を結んでいます
(2024 年 11 月現在)



留学プログラムを知ろう！

留学といっても学内には様々なプログラムがあります。それぞれの特徴・内容を理解した上で選びましょう。



● 留学プログラムの種類

交換留学

中央大学の協定校へ留学する制度で、単位取得を目的に主に専門科目を履修する留学です。留学先国によって派遣時期が異なります。学内募集は、春派遣については留学前年度の6月、秋派遣については留学前年度の11月に募集され、学内選考があります。

ISEP留学

ISEPの加盟校へ留学することです。単位取得を目的に主に専門科目を履修する留学です。交換留学と同じ時期に学内選考があり、交換留学との併願が可能です。留学先大学はISEPのWebサイトから自身で探す必要がありますが、世界中の加盟校から選択することができます。

認定留学

協定校やISEP加盟校の中に留学を希望する大学・学部・コースがなく、他にやりたい大学がある場合の留学方法です。単位取得を目的に主に専門科目を履修する留学です。自身で留学を手配した後に所属学部・大学院事務室に認定留学願を提出し、許可される必要があります。

学部等が主催する海外派遣プログラム

各学部と大学院理工学研究科、全学連携教育機構において独自の海外派遣プログラムを展開しています。語学の習得はもちろん、インターンシップやフィールドワーク等を組み込んだ多彩なラインナップです。

語学留学(休学)

語学研修は語学学校や大学付属の語学機関が実施するものがあり、期間は数週間から1年以上のものまであります。個人で手配することも可能ですが、留学幹旋団体を通じて申し込む学生が多いです。本学の授業期間中に語学留学をする場合は、その期間は原則休学となります。

プログラム選択のポイント

①プログラムの特徴

各プログラムのレベル、留学期間、留学先、出願要件、費用、出願スケジュールなど、これらの視点からプログラムを比較してみましょう



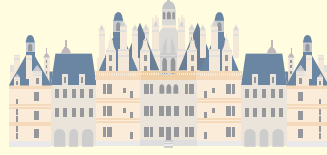
②期間で選ぶ

プログラムによっては1週間～4週間と短いものから、交換留学のように1セメスター・2セメスターと長い期間のプログラムもあります。どれくらいの期間で留学をしたいか考えてみましょう。



③渡航先で選ぶ

まずどの国・地域に行ってみようかと考えてみましょう。本学は北米、ヨーロッパ、アジア、オセアニアに協定校があります。また、同じ国であっても都市か郊外かで雰囲気異なります。



留学情報収集ってどうするの？

manaba 留学info ライブラリー

登録制の manaba 「留学 info ライブラリー」を活用しよう !! 未登録の方は、まず登録を → <https://forms.gle/qwL2K897aksNWwPG8>



- ✓先輩たちの留学報告書
 - ✓様々な留学・国際交流イベント
 - ✓留学説明会の資料・動画
 - ✓留学関係資料等
- などをチェックできます。

過去の長期留学募集要項

交換留学希望者は中央大学の HP より「過去の長期留学募集要項」を確認しよう !! <https://www.chuo-u.ac.jp/international/outbound/material/>



Instagram

中央大学の Instagram を Check !! フォローをお願いします。 https://www.instagram.com/chuo_ic/



- ・留学フェア
 - ・留学説明会
 - ・アントレイベント
 - ・留学経験者の Photo
- などを発信しています。

留学フェア

留学全般説明会はもちろんのこと、留学経験者による留学相談、留学希望者向け就活ガイダンス、外部留学幹旋団体による留学説明会、受け入れ留学生とのフリートークなど各学期ごとに開催・様々なイベントがあります！情報収集とともに国際交流の場としてぜひ活用してください！



国際センター

国際センターの留学相談

詳しく知りたい方、お気軽に国際センターへ相談してください!!
方法：対面・Webex・電話
場所：多摩キャンパス グローバル館 2 階
まずは**事前予約**を →



都心キャンパス

都心キャンパスでのサポート

都心キャンパスに国際センタースタッフが赴き対面での留学相談会や留学に関する説明会を実施することがあります。日程など詳細は国際センター web ページまたは公式 Instagram にご確認ください。具体的な内容の留学相談については、都心キャンパスでの留学相談デーや Webex または電話による留学相談をご活用ください。なお、後楽園キャンパスでは一般的な留学相談は常時対応可能です。(月～金、窓口開室時間内)



2. 長期留学プログラム交換留学

交換留学



概 要	中央大学の協定校へ留学する制度で、単位取得を目的に主に専門科目を履修する留学です。留学先国によって派遣時期が異なります。学内募集は、春派遣については留学前年の5月下旬～6月上旬、秋派遣については留学前年の11月に募集され、学内選考があります。
留 学 期 間	1学期間または1学年間
留 学 先	中央大学の協定校
募 集 人 数	各協定校1名～5名程度
募集要項公開	【春派遣】留学前年度4月頃 【秋派遣】留学前年度10月頃
応 募 時 期	【春派遣】留学前年の5月下旬～6月上旬 【秋派遣】留学前年の11月
応 募 方 法	最新の募集要項を確認

学 内 選 考	・有 ・時期【春派遣】留学前年度6月 【秋派遣】留学前年度12月上旬～2月末 ・ISEP と合わせて第5希望まで志望大学を提出できる
留 学 開 始	【春派遣】2月～7月（1学期間）、 2月～12月（1学年間） 【秋派遣】8、9、10月～12、1、2月（1学期間）、 8、9、10月～翌年5、6、7月（1学年間） ※留学先大学による
学 費	【中央大学】納入 【留学先大学】原則免除 （ただし、学費納入の協定校もある）
学 籍 状 態	在学
各協定校の募集条件	各協定校によりGPA・語学要件は異なります。詳しくは本ガイドブック後半ページやHP掲載の前年度の長期留学募集要項「協定校別募集条件一覧」をご覧ください。ただし、募集する協定校や募集条件は予告なく変更する場合があります。  過去の募集条件 

交換留学・ISEP留学応募のポイント

応募要件

- GPA(応募の最低基準) 学部生：2.00以上 大学院生：3.00以上
- 語学(応募の最低基準)
- 【英語で授業を受ける場合】TOEFL iBT 59またはIELTS 5.5

*各協定校によりGPA・語学要件は異なります。募集要項の「協定校別募集条件一覧」にて必ず確認してください。
*各協定校の応募条件が交換留学の最低基準を上回る場合は、協定校の基準が優先されます。

Q.いつまでに語学のスコアを準備すればよい？

語学能力証明書（留学先において英語で授業を受ける場合）

<2026年 春派遣>予定

TOEFL iBT：2025年5月中旬までに受験したスコアを認めます。
IELTS：2025年5月中旬まで受験したスコアを認めます。

*最終受験日の詳細は募集要項にて公開します。上記日程から変更になる場合があります。

<2026年 秋派遣>予定

TOEFL iBT：2025年11月上旬まで受験したスコアを認めます。
IELTS：2025年11月上旬まで受験したスコアを認めます。

学内選考ではGPAと語学力に加えて留学目的・留学計画等、総合的に判断されます。
特に語学力は高いレベルを目指せるよう早めに準備しましょう！！

01

語 学 力

- ・語学力は一朝一夕に身につくものではありません。計画的に語学の資格試験を受験していきましょう。年に数回しか受験できないものもあります。
- ・留学内定後も、出発前までにできる限り語学力をアップさせましょう。

02

G P A

- ・日頃の大学での勉強が大事です。
- ・留学だけでなく奨学金選考などでGPAが加味されることが多いです。
- ・留学先で履修する科目に関わる分野を出発前に日本語で学んでおきましょう
→現地で理解が容易、帰国後の単位認定

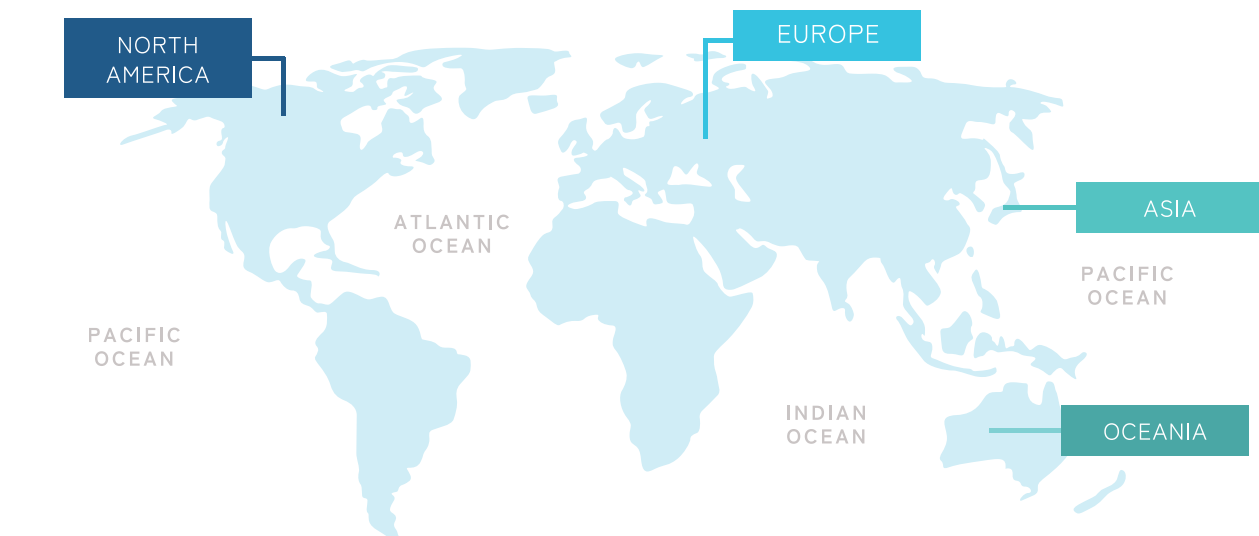
03

留 学 計 画

- ・交換留学学内選考の倍率を見て留学先を決めるのではなく、留学目的に合った留学先を決めてください。その大学で履修できる授業を調べてください。
- ・大学生の留学は語学力の向上だけが目的ではなく専門科目履修が目的です。本学での学修やキャリアプランを踏まえてしっかりと留学計画を練ってください。

List of Partner Universities

協定校一覧（学生交換実施校）



世界に広がるネットワークを持つ中央大学。41の国と地域の217校（2024年11月現在）と協定を締結しています。その中で、以下大学と学生交換（学生交換協定締結を含む）を行い、お互いに交流を深めています。グローバル社会で活躍できる人を、目指してみませんか？中央大学から世界へ。

ASIA

韓国

漢陽大学
建国大学
淑明女子大学
仁荷大学
成均館大学
檀國大学
中央大学
梨花女子大学
慶熙大学

中国

厦門大学
上海理工大学
重慶大学
中央民族大学
南開大学
華東政法大學
清華大学
武漢大学歴史学院【文学部・文学研究科のみ】
香港大学
香港城市大学
嶺南大学

台湾

国立政治大学
国立中央大学
東吳大学
南台科技大学
国立中山大学
国立高雄師範大学
国立台北大学法律学院
【法学部・法学研究科のみ】
国立台湾大学法律学院
【法学部・法学研究科のみ】
国立暨南国際大学人文学院
【文学部・文学研究科のみ】

タイ

タマサート大学
チュロンコン大学経済学部【経済学部のみ】
バンヤビワット経営大学

マレーシア

ウタラマレーシア大学
マレーシア科学大学
マラヤ大学

シンガポール

シンガポール・マネージメント大学
南洋理工大学（人文社会学部）

フィリピン

フィリピン大学ディリマン校

インドネシア

インドネシア大学
ガジャマダ大学
ハサスディン大学文化科学学部
【総合政策学部・総合政策研究科のみ】

カンボジア

王立ブノベン大学
【総合政策学部・総合政策研究科のみ】

OCEANIA

オーストラリア

アデレード大学
スウィンバーン工科大学
西オーストラリア大学
ニューサウスウェールズ大学
フリンダース大学
西シドニー大学

NORTH AMERICA

カナダ

ウイニペグ大学
ニューファンドランドメモリアル大学
フレーザーバレー大学

アメリカ

アリゾナ大学
カリフォルニア州立大学モントレーベイ校
カリフォルニア大学デイヴィス校
サンディエゴ州立大学
セント・トーマス大学
テネシー大学ノックスヴィル校
ノースカロライナ大学アッシュビル校
バドュー大学
ハワイ大学ヒロ校
ハワイ大学マノア校
東テネシー州立大学
ベネディクティン大学
ミシシッピ大学
ミネソタ州立大学マンケート校
ニューヨーク市立大学スタテンアイランド校
ノースカロライナ大学シャーロット校
フロリダ大学
チュレーン大学ロースクール
【法学部・法学研究科（修士課程のみ）】

メキシコ

メキシコ国立自治大学（UNAM）
メキシコ自治工科大学（ITAM）

EUROPE

イギリス

サセックス大学
シェフィールド大学
マンチェスター大学（人文科学部）
ヨーク大学
レスター大学
エッジヒル大学
ロンドン大学東洋アフリカ研究学院

アイルランド

ドーセット カレッジ

イタリア

ミラノ・ビコッカ大学
メッシーナ大学工学部
【理工学部・理工学研究科のみ】
ミュンヘン大学法学部【法学部のみ】
アーヘン工科大学土木工学部・機械工学部
【理工学部・理工学研究科のみ】
フランクフルト金融経営大学

マルタ

マルタ大学

スペイン

アリカンテ大学
コルドバ大学
サマランカ大学
サンティアゴ・デ・コンポステラ大学

スウェーデン

ストックホルム大学
リンネ大学

ポーランド

ウッチ大学

フランス

エクス・マルセイユ大学
トゥールーズ・ジャンジョレス大学
パリ・ナンテール大学
パリ シテ大学
リュミエール・リヨン第2大学
リヨン政治学院
トゥール大学
ソルボンヌ・パリ・ノール大学
ストラスブール大学
バガンディ・スクール・オブ・ビジネス
イーエム・ノルマンディー・ビジネススクール

ベルギー

ブリュッセル自由大学
ルーヴァン・カトリック大学サルイブリュッセル校
ルーヴェン・カトリック大学

オランダ

フォンティス応用科学大学
エラスムス・ロッテルダム大学
（法学部・歴史文化コミュニケーション学部）

スイス

ジュネーヴ大学
西スイス応用科学大学

ドイツ

ヴェルツブルク大学
オスナブリュック大学
テュービンゲン大学
ベルリン自由大学
ミュンスター大学
ミュンヘン大学法学部【法学部のみ】
アーヘン工科大学土木工学部・機械工学部
【理工学部・理工学研究科のみ】
フランクフルト金融経営大学

デンマーク

コペンハーゲン大学
南デンマーク大学

クロアチア

ザグレブ大学

トルコ

中東工科大学



概要	ISEPの加盟校へ留学することです。交換留学と同じ時期に学内選考があり、交換留学と併願が可能です。留学先大学はISEPのWebサイトから自身で探す必要がありますが、世界中の加盟校から選択することができます。
	【ISEP Exchange】 ・派遣学生は1年または1学期のProgram fee（留学先の寮費・食費等）を中央大学に支払い、ISEPに手配料（Application fee, Placement fee, Student Insurance fee）を支払う。 ・留学先の授業料・寮費・食費などは基本的にかからない（留学先によりその他費用がかかる場合がある）。
	【ISEP Direct】 ・派遣学生は1年または1学期のProgram fee（留学先の授業料・寮費等）および手配料（Application fee, Placement fee, Student Insurance fee）をISEPに支払う。
留学期間	1学期間または1学年間
留学先	ISEP加盟校
募集人数	【ISEP Exchange】7名程度（春派遣・秋派遣併せて） 【ISEP Direct】3名程度（春派遣・秋派遣併せて）

募集要項	【春派遣】留学前年度4月頃 【秋派遣】留学前年度10月頃
応募時期	【春派遣】留学前年の5月下旬～6月上旬 【秋派遣】留学前年の11月
応募方法	まずは本学長期留学に応募→その後ISEPに本出願
学内選考	・有 ・時期【春派遣】留学前年度6月 【秋派遣】留学前年度12月上旬～2月末
留学開始	【春派遣】2月～7月（1学期間） 2月～12月（1学年間） 【秋派遣】8、9、10月～12、1、2月（1学期間）、 8、9、10月～翌年5、6、7月（1学年間） ※留学先大学による
学費	【Exchange】中大のみ学費納入
	【Direct】留学先及び中大の学費納入
学籍状態	在学

単位認定・継続履修制度について（長期留学共通）

01

60単位を
超えない範囲で認定

02

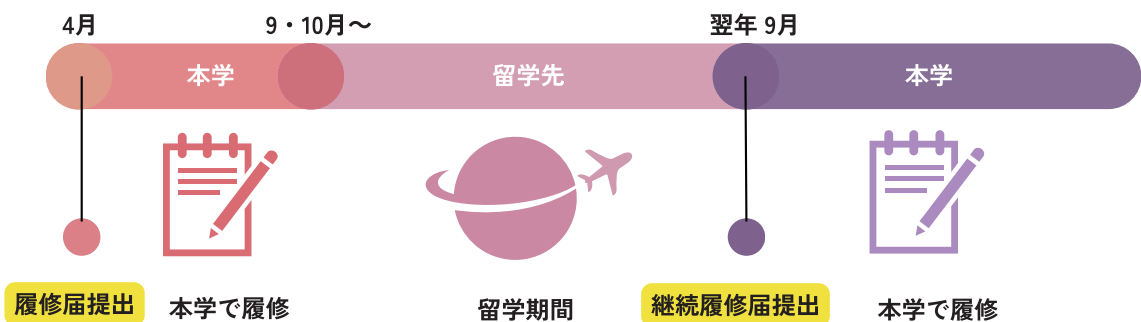
語学科目のみの場合は
単位認定をすることが
できない学部もあり

03

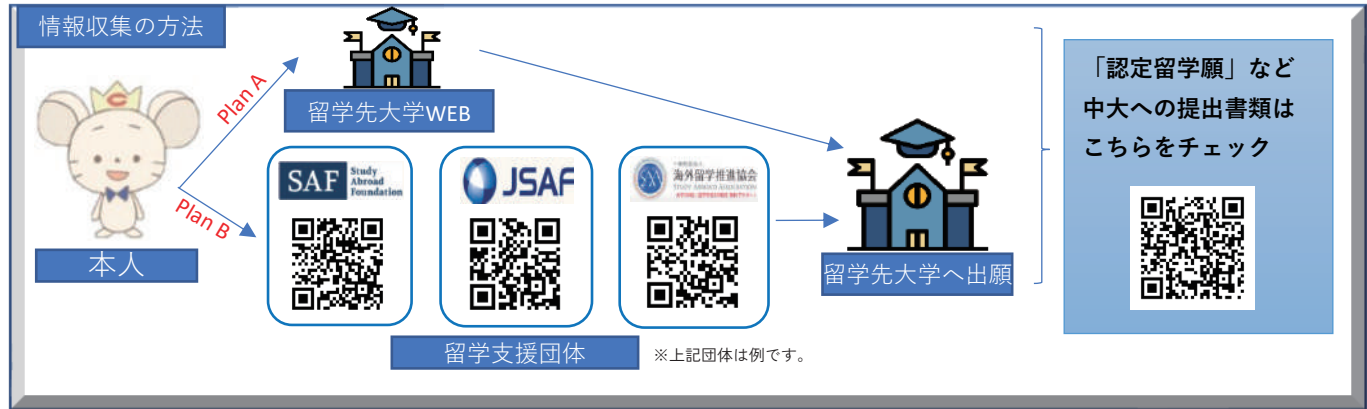
まずは学部事務室に
確認が必要！

継続履修制度

中央大学における留学出発までの履修が無駄にならないよう便宜を図る制度です。各学部・大学院によって手続き等異なりますので、詳細は事前に各所属学部・大学院事務室にご相談ください。



認定留学は交換留学同様、単位認定のある長期留学制度のひとつです。協定校やISEP加盟校の中に留学を希望する大学・学部・コースがなく、他にいきたい大学がある場合の留学方法です。留学の3か月前までに「認定留学願」を所属学部・大学院事務室に提出する必要があります。



※学費は「中央大学」と「留学先大学」、両方に納入する必要があります。
※留学支援団体を利用する場合、その指示に従ってください。
※自身の留学が認定留学として認められるか不安な場合は、「国外留学願書」提出前に早めに学部事務室・大学院事務室にご相談ください。
※各学部、各研究科で、上記以外の書類提出が必要な場合があります。必ず事前に各学部、各研究科へ確認してください。

認定留学の応募条件（所属学部・大学院別）

出願校に入学を許可された場合でも、学部・大学院内の選考・基準を満たさない場合、留学を認められないことがあります。事前によく所属学部・大学院事務室に確認してください。

法学部	●本学に1年以上在学しており、かつ在学1学年について28単位以上修得していること ●学部の国際交流委員会委員による面接審査あり ●出発日の3か月前までに法学部事務室への申請が必要。ただし、出発予定日が本学の休業期間中にかかるときは、休業期間の始まる日の2ヵ月前まで
経済学部	●学部の国際交流委員会委員による面接審査あり ●出発日の3ヶ月前までに経済学部事務室への申請が必要 ●出願時に「語学能力検定試験」能力証明書の提出が必要。但し、「語学能力検定試験」を受けていない場合は、その理由書を提出し、教員による推薦状を用意する。なお、学内の「基礎学力試験」がある場合は必ず受けること
商学部	学部独自の基準あり ●留学開始の時点で本学に1年以上在籍し、かつ在学1カ年につき28単位以上の単位を修得した者 ●出願時における最新のGPAが原則として2.0以上の者 ●次の語学能力を満たす者 英語…TOEFL iBT68点以上またはIELTS5.5以上 ※TOEFL iBTのMy Best Scoreは使用できません ドイツ語…ドイツ語検定試験3級程度 フランス語…フランス語検定3級程度、またはDELFA2取得程度 中国語…HSK4級程度、または中国語検定試験3級程度 スペイン語…スペイン語技能検定4級程度、またはDELE A2以上の合格者 朝鮮語…ハングル能力検定試験3級程度、または韓国語能力試験（韓国文教部）3級程度 ロシア語…東京ロシア語学院のロシア語能力検定試験3級程度またはロシア語検定試験入門レベル 上記以外の言語…各語学能力証明書
理工学部	●理工学部にて1年以上在学し、かつ、在学1カ年につき28単位以上の単位を修得した者、または留学までに修得する見込みの者 ●前年度までの通算GPAが、原則として2.0以上の者 ●留学予定大学の授業で必要とされる言語について、原則として次の語学能力を満たしていることが証明できる者 英語…TOEFL iBT58 (PBT493) 以上またはIELTS5.0以上 ドイツ語…ドイツ語検定試験3級程度 フランス語…フランス語検定試験3級程度 中国語…HSK4級程度または中国語検定試験3級程度 上記以外の言語…上記言語圏が求める語学能力を勘案し、個別に判断する ●出発前に理工学部事務室および所属学科の交換・認定留学相談担当教員へ事前に確認いただく事項がありますので、出願を検討する場合は、まずは理工学部事務室へお問い合わせください
文学部	●応募書類として指導教員（専任）の推薦状が必要 ●3か月前までに文学部事務室への申請が必要
総合政策学部	●出願時におけるGPAが原則として2.50以上の者 ●次の語学能力を満たす者 英語…TOEFL iBT 58またはPBT 493またはIELTS5.0以上 ドイツ語…独検3級合格者で、2級合格を目指す者 フランス語…フランス語検定（DAFp）3級合格程度またはDELF、DALF、TCFでB1取得程度 中国語…HSK4級合格程度または中国語検定試験3級合格程度 韓国・朝鮮語…ハングル能力検定試験3級合格程度または韓国語能力試験3級合格程度 アラビア語…以下の2条件を満たすこと：①辞書を使ってアラビア語の新聞を読むことができる／②正則アラビア語による簡単な日常会話ができる マレー・インドネシア語…以下の3条件を満たすこと：①インドネシア語の基本的な文法を習得していること／②身近な事らについてインドネシア語で簡単な会話ができること／③辞書を使えば、ごく普通の読み物が理解でき、自分の意思や関心事について簡単な文が書けること ロシア語…以下の4条件を満たすこと：①ロシア語文法をほぼ理解していること／②ロシア文字を読解できること／③ロシア語による簡単な日常会話ができること／④ロシア語1、2年次の単位を取得していること、または取得予定であること ヒンディー・ウルドゥー語…以下の3条件を満たすこと：①ヒンディー語の基礎的な会話に支障のない程度の会話力が身についていること／②基本的な文法をマスターし、中等教育程度の文章を理解できること／③1、2年のヒンディー・ウルドゥー語の単位を修得していること、または取得予定であること 上記以外の言語…各語学能力証明書
国際経営学部	●留学開始の時点で、本学に1年以上在学し、かつ、在学1カ年につき28単位以上の単位を修得した者。ただし、特に研究及び教育上成果が得られると認める場合には、この限りではない ●出願時における最新のGPAが原則として2.0以上の者 ●次の語学能力を満たしていることが証明できる者 英語…TOEFL iBT 60点以上 (CBT190点以上) 又はIELTS 5.0以上 中国語…HSK 4級程度、又は中国語検定試験3級程度 スペイン語…スペイン語技能検定4級程度、又はDELE A2以上の合格者 上記以外の言語…各語学能力証明書
国際情報学部	●出発の3ヶ月前までに申請が必要（夏季・冬季休業期間をはさむ場合は休業の2ヶ月前まで） ●英語教員等による面接審査あり ●次の語学能力を満たす者 ・TOEIC L&R600以上、又はTOEFL iBT61以上、又はIELTS 5.0 ・英語以外の外国語は語学能力検定試験能力証明書等を提出
大学院	●詳細は大学院事務室（理工学研究科は理工学部事務室）にお問い合わせください
専門職大学院	●詳細は各専門職大学院事務室にお問い合わせください

3. 短期留学プログラム

単位認定型：短期留学プログラム

春休み・夏休みを利用して協定校附属機関で語学研修を受講するプログラムです。

こんな人におすすめ！

☐いきなり長期留学は不安、はじめは短期で

☐まずは語学力を高めたい

☐実習や部活があって長期は難しい

☐海外初挑戦！

☐長期留学の費用負担はムリ



短期留学のおススメポイント

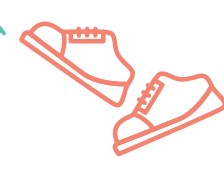
協定校附属語学研修機関

協定校附属機関での語学プログラムを受講します



異文化体験もできるプログラム

言語研修だけでなく、アクティビティーやワークショップも開催されます



充実したサポート体制

初めての海外渡航でも安心して参加できます



単位認定あり

要件を満たせばプログラムに応じて2-4単位が付与されます



交流の輪が広がる

他学部はもちろん、現地の人も交友関係を築けます



概要とスケジュール

募集要項公開

応募期間

選考・参加可否通知

事前研修・授業
オリエンテーション

Cplus/ ホームページ
春季：9月中旬～
夏季：3月中旬～

Cplus のアンケートより
9月下旬～10月上旬
3月下旬～4月上旬

原則書類審査
10月中旬
4月中旬

10月下旬～
4月下旬～

《夏季プログラム》（約2～4週間）

国・地域	実施大学	言語	参加費用 ※注 1	滞在形式
アメリカ	カリフォルニア大学デヴィス校	英語	約 100 万円	ホームステイ 学生寮 ホテル ※プログラムにより異なります
イギリス	シェフィールド大学		約 80 万円	
ドイツ	テュービンゲン大学	ドイツ語	約 30 万円 + 渡航費	
フランス	トゥールーズニジャンジョレス大学	フランス語	約 40 万円 + 渡航費	
オーストラリア	スウィンバーン工科大学	英語	約 70 万円	
韓国	檀国大学	韓国語	約 18 万円 + 渡航費	※プログラムにより異なります
	慶熙大学		約 20 万円 + 渡航費	
台湾	国立中央大学	中国語	約 15 万円 + 渡航費	
メキシコ	メキシコ国立自治大学	スペイン語	約 35 万円 + 渡航費	

注 1) 未確定のものや外貨建てのものが含まれるため変動の可能性があります。
詳細は募集要項を確認してください。

《春季プログラム》（約3～4週間）

国・地域	実施大学	言語	参加費用 ※注 1	滞在形式
アメリカ	ハワイ大学マノア校	英語	約 60 万円	ホームステイ 学生寮 ホテル ※プログラムにより異なります
ニュージーランド	オークランド大学		約 70 万円	
オーストラリア	スウィンバーン工科大学		約 70 万円	
	フリンダース大学		約 70 万円	
スペイン	アリカンテ大学	スペイン語	約 53-58 万円	

注 1) 未確定のものや外貨建てのものが含まれるため変動の可能性があります。
詳細は募集要項を確認してください。

単位認定なし：国際センター紹介プログラム ※参加費用自己負担

国際センター紹介プログラムは、学外の連携企業等が主催する海外留学プログラムのうち、本学のグローバル人材育成のテーマに資するものとして認定された推奨プログラムです。従来の語学研修ではない海外インターン・海外研修型の短期留学です。主に春休みと夏休みに開催されています。





株式会社スパイスアップアカデミア

ビジネスと国際貢献を体験できる短期の海外インターンシップを紹介しています。
実践的なビジネス疑似体験型の海外研修で、中央大学から 2024 年は 26 名が参加しました。
2024 夏季実施プログラム例：2 週間現地でカレー屋を経営。その売り上げで小学校や障がい者施設を支援(タイ・カンボジア)。



タイガーマーブ株式会社

アジア新興国を中心に、アフリカ、南米、中東等世界各国での実践型の海外研修プログラムを提供しています。
2024 春季実施プログラム例：◎インドの生活圏・下町などで社会課題に触れる ◎ネパールの孤児と交流し「貢献する」ことについて、新興国でアクションを起こす意義は何なのかを問う ◎フィンランドで現地の人々との交流を通して、様々な視点から「フィンランドの人々が大切にしている価値観」について考える ◎デンマークの多様性、公平性、包括性 (DE&I) をテーマとしたワークショップ、またそれに取り組むコミュニティや教育機関を訪問し、「ともに生きる」とはどういうことかを探る。



一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト (GiFT)

多様な場づくりを通じたグローバル・シチズンシップの育成を行う教育団体で、主に短期の共創実践留学プログラムを紹介しています。
2025 年春季実施プログラム例：フィリピン社会起業家と交流し、参加者自身の視点でアイデアを考え、社会還元を目指す。

学外留学団体が紹介するプログラム

国際センターで主催するプログラムの他にも留学をサポートする外部の団体・企業で申し込めるプログラムは多数あります。中でも  wish は多摩キャンパスの生協で申し込みが可能です。

4. 各学部主催海外派遣プログラム(予定) ※内容は変更になることがあります。

中央大学では各学部、全学連携教育機構においても独自の留学プログラムを展開しています。語学の修得はもちろん、インターンシップやフィールドワーク等を組み込んだ、多彩なラインナップです。プログラムによっては、他学部が主催するプログラムに参加することも可能です。詳細はウェブページをご確認ください。



担当	プログラム名	科目名	他学部履修可否	対象	派遣先(国・地域名)	内容	渡航時期	期間	単位付与単位認定	奨学金制度
法学部	ILO リサーチプログラム	短期海外プログラム ILO リサーチプログラム (スイス) / インターンシップ I (国際)	不可	1年生以上	スイス (ジュネーブ他)	本プログラムは、将来、国際的なキャリア (外交官、国際機関スタッフ、ジャーナリスト、グローバル・ビジネスパーソン、NGOスタッフ等) や国際関係の研究をめざす学生を対象に、文献調査や専門家の方へのインタビューなどの二次情報を中心に国際労働問題に関する研究を行う機会を提供する。参加学生は、労働問題に関するテーマについての研究とそのために専門家とのやりとりを英語で遂行する (最近のテーマ: 児童労働、強制労働などの諸問題、移住労働、雇用政策、職場におけるジェンダー間平等、産休・育休に関する国際労働基準など)。また、その過程で、異文化理解や共感力、グローバルな柔軟な批判的思考、アカデミック・リサーチ・スキル、および実践的な語学力の涵養などのグローバル社会で働く上で必要となる汎用的な能力の向上をめざす。	夏季休暇中	1週間	4単位	グローバル・プログラム奨学金
	カンボジア法整備支援と社会開発援助	海外スタディーツアー カンボジア法整備支援と社会開発援助 / 専門総合講座 A 1 カンボジア法整備支援と社会開発援助	不可	1年生以上	カンボジア (プンベン、シェムリアップ他)	本研修の目的は、現地研修を含むテーマ学習活動を通じて、多様な価値観や考え方・学習方法・キャリアプラン等への理解を深めること。具体的には、法整備支援や社会開発援助をテーマに、①法整備支援の専門家 (JICA 専門家として派遣されている日本人 裁判官・検察官・弁護士) からその現状と課題について学び、②現地を機関・組織 (特別法廷、労働仲裁所、憲法院、JICA 事務所、王立 法律経済法科大学、NGO や農村等) を訪問・見学することによって、社会の在り方や社会における法の役割・機能について考え、③王立 法律経済法科大学学生 (カンボジアにおける法学部のトップ校) との交流の機会を通して意見交換を行います。検察官等による研修、法律事務所訪問、JICA 事務所・NGO 訪問、学生との交流などは、個人の旅行・他団体の研修では得ることが容易ではないものです。本学のネットワークを通してプログラムをデザインすることで、法整備支援と社会開発援助についての政府・政策レベルでの取り組みと、それらの取り組みが現地の住民にどのような意味を持つのか、どのような課題があるのかというトップダウンとボトムアップの両方の視点から社会を考え、振り返り・ディスカッションを通して理解を深めます。	春季休暇中	1～1.5 週間程度	2単位	グローバル・プログラム奨学金
	オーストラリア法律短期留学	海外スタディーツアー オーストラリア法律短期留学 / 専門総合講座 A 1 オーストラリア法律短期留学	可 ※文学部・国際経営学部のみ	1年生以上	オーストラリア (シドニー)	憲法、刑法、契約法、先住民法などのオーストラリア法を素材にして、法律英語の使い方と英語による法律の基礎を学ぶ。2024 年度はシドニー工科大学において英語で法律を学び、当該大学ロースクール教員による講義や各種課外活動を行う。	春季休暇中	2週間程度	2単位	増島記念奨付奨学金 グローバル・プログラム奨学金
経済学部	グローバル・フィールド・スタディーズ	グローバル・フィールド・スタディーズ V・VI・VII・VIII	不可	2年生以上	担当教員により異なる	海外における実態調査・研究活動 (ゼミと運動)	講座毎に異なるが、夏季および春季休暇中が多い。	2泊 3 日～2週間程度	1単位	
	海外インターンシップ	海外インターンシップ演習・実習	可	2年生以上	マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、アメリカ、オーストラリア	前期 (もしくは後期) に半期科目である「海外インターンシップ演習」を履修し、夏季 (もしくは冬季) 休業期間に「海外インターンシップ実習」を実施。	夏季・冬季休暇中	2～4 週間	演習 (2 単位)・実習 (2 単位)	経済学部生は経済学部給付奨学金に出席可
商学部	グローバルインターンシップ	グローバル・プロフェッショナル・プログラム B2 (グローバルキャリア / ** II) ※上記科目名の ** 部分には、派遣先の国名が入ります (タイ・ベトナム・オーストラリア・モンゴル・インド)	可	2年生以上	タイ (バンコク) ベトナム (ホーチミン、ダラット、ハノイ) オーストラリア (シドニー) モンゴル (ウランバートル) インド (ベンガルール)	【タイ】タイのバンヤビワット経営学部 (PIM) の母体である CP ALL の関連企業で約 2 週間のインターンシップを経験する。 【ベトナム】中央大学・ホーチミン工科大学・同志社大学学生でチームを構成し、「人材採用課題」解決に取り組む。 【オーストラリア】オーストラリアの企業 (現地企業、多国籍企業、または日系企業) で約 4 週間のインターンシップを行う。 【モンゴル】①日系企業を含む現地企業 (銀行、金融、通信) で職務経験を体験するビジネス・インターンシップコース、②教育機関 (大学、高等、高校) において日本に関心を有するモンゴル人学生等に対して日本紹介授業や日本語教育担当教員補佐として働く「学生アンバサダーコース」、③国営メディアの日本語通信部門での記者補佐体験コースの 3 種類を予定している。 【インド】ベンガルールに拠点を構えるスタートアップ企業で、1 か月間のインターンシップを行う。	夏季休暇中	10 日間～4 週間	2単位	商学部グローバルインターンシップ奨学金
	グローバル・フィールド・スタディーズ	グローバル・フィールド・スタディーズ I・II・III	不可	2年生以上	担当教員により異なる	海外における実態調査、研究活動 (ゼミと運動)	担当教員により異なる。	最低 2 泊 3 日	1単位	
	Future Global Leaders Program	英語 (e2) Future Global Leaders Program	可	全学部生対象	アメリカ (カルフォルニア大学サンディエゴ校)	1 週目: 語学研修 2～3 週目: 講義受講、施設見学 現地大学院の専任教員から国際経済、政治、法律、リーダーシップ、マネジメント分野のグローバルなトピックに関する講義受講する。その他、裁判傍聴や市長訪問などの課外授業あり。	春季休暇中	3週間程度	2単位	チャレンジ奨学金 (オーバーシーズ・プラン) ※商学部生のみ
	商学部留学プログラム	Global Study Program 第二外国語 (e2) (グローバル・ステUDENT 育成講座短期留学)	不可		英語圏: アメリカ 第二外国語圏: ドイツ、オーストラリア、フランス、スペイン、中国、韓国	主として語学研修 英語圏: 1 セメスター留学。 第二外国語圏: 1 セメスター留学と短期留学の 2 種類がある。	【1 セメスター留学】 【短期留学】 夏季休暇または春秋学期以降			商学部留学プログラム給付奨学金
	グローバル・スポーツ・ビジネス・キャリア	スポーツ・ビジネス・プログラム B2 (グローバル・スポーツ・ビジネス・キャリア / GSBG) 明治安田協賛講座	可	2年生以上 前提科目あり	ドイツ (デュッセルドルフ)	ドイツ・ブンデスリーガ所属のフォルトゥナ・デュッセルドルフにて 1 週間程度のスポーツ・マネジメント研修を行う。	春季休業中	1週間程度	2単位	商学部チャレンジ奨学金 (オーバーシーズ) 明治安田奨学金

担当	プログラム名	科目名	他学部履修可否	対象	派遣先 (国・地域名)	内容	渡航時期	期間	単位付与単位認定	奨学金制度
理工学部	グローバルスタディーズ A		不可	1年生以上	・アメリカ (ハワイ大学) ・オーストラリア (西オーストラリア大学) ・アメリカ (カリフォルニア大学デービス校) ・アメリカ (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校)	◆アメリカ・ハワイ 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (ハワイ大学にて 3 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) ◆オーストラリア・パース 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (西オーストラリア大学にて 4 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 西オーストラリア大学での英語語学研修、理工学部学生向けプログラム、異文化体験、ホームスティ等 ◆アメリカ・カリフォルニア (デービス) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (カリフォルニア大学デービス校にて 4 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) ◆アメリカ・カリフォルニア (ロングビーチ) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (カリフォルニア州立大学ロングビーチ校にて 3 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) カリフォルニア州立大学ロングビーチ校での英語語学研修、理工学部学生向けプログラム、異文化体験、ホームスティ等*	・夏季休暇中 (アメリカ (ハワイ大学)、アメリカ (CSULB)) ・春季休暇中 (オーストラリア、アメリカ (カリフォルニア大学デービス校))	数週間～1 か月程度	2 単位 (※ 4 年次後期等のプログラム参加の場合、単位付与が認められない場合がありますので事前に理工学部事務室にご連絡をしてください。)	たくみ奨学金
	グローバルスタディーズ B I / B II		不可	1年生以上	・アメリカ (カリフォルニア・シリコンバレー) ・中国 (上海理工大学)	◆アメリカ・カリフォルニア 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (カリフォルニア・シリコンバレーにて 1 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) シリコンバレーでの企業訪問や現地大学生および社会人との交流会等 ◆中国・上海 事前授業 (3 回を予定) 海外研修 (上海理工大学にて 1～2 週間) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 上海での企業訪問や上海理工大学での学生交流および語学研修等	・夏季休暇中 (アメリカ)、 ・春季休暇中 (アメリカ、中国)	1～2 週間程度	1 単位 (※ 4 年次後期等のプログラム参加の場合、単位付与が認められない場合がありますので事前に理工学部事務室にご連絡をしてください。)	留学プログラム給付奨学金
	グローバルインターンシップ		不可	1年生以上	・インドネシア (バンドン工科大学) ・インドネシア (バンドン工科大学) ・ベトナム (ハノイ / ホーチミン) ・ベトナム (ハノイ / ホーチミン) ・アメリカ (カリフォルニア) ・マレーシア (マレーシア工科大学 / 科学大学) ・インド (ラマイア大学) ・インドネシア (ダルマプサダ大学)	◆インドネシア (バンドン工科大学) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (バンドン工科大学にて 2～3 週間程度) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 東南アジアから集まった学生と、2 週間の合宿を通して津波や環境問題について議論する。 ◆ベトナム (ハノイ / ホーチミン) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (ベトナムの受入先企業) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 日系企業を中心に、ベトナム人と新入社員同様の業務を行う。 ◆アメリカ (カリフォルニア) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (カリフォルニアの米系企業) 事後研修 (報告会 1 回を予定) カリフォルニアの米系企業にてインターンシップを体験、ホームスティ等。 ◆マレーシア (マレーシア工科大学 / 科学大学) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (マレーシアの受入先企業、マレーシア工科大学 / 科学大学) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 日系・ローカル企業でのインターンシップ体験に加え、マレーシア工科大学、マレーシア科学大学でも研修を行う。 ◆インド (ラマイア大学) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (インドの受入先企業) 事後研修 (報告会 1 回を予定) 米系・日系の企業・イノベーション・スタートアップ企業での研修を体験し、インドのスタートアップイノベーション文化やテクノロジー開発を体験する。 ◆インドネシア (ダルマプサダ大学) 事前研修 (3 回を予定) 海外研修 (ダルマプサダ大学、受入先企業、バリ) 事後研修 (報告会 1 回を予定) ダルマプサダ大学での研修に加え、企業でのインターンシップ、人気のビーチリゾートバリで SDGs に関する課題解決チャレンジする。	・夏季休暇中 (インドネシア (バンドン工科大学)、ベトナム (ハノイ / ホーチミン)、アメリカ、マレーシア、インド、インドネシア (ダルマプサダ大学))	2～4 週間程度	1 単位 (※ 4 年次後期等のプログラム参加の場合、単位付与が認められない場合がありますので事前に理工学部事務室にご連絡をしてください。)	留学プログラム給付奨学金
文学部	グローバル・スタディーズ		可	1年生以上	韓国、シンガポール・マレーシア、ベトナム、山梨県立富士山世界遺産センター (2024 年度実績) ※開講年度・担当教員による	国内外における実態調査、協定校学生との研究交流等	夏季休暇中 春季休暇中	プログラムによるが、概ね 1 週間以内	1 単位	なし
総合政策学部	Field Studies	2017 年度入学生 Field Studies I～VI (2016 年度以前入学生は単位付与なし)	不可	1年生以上	インドネシア	海外における実態調査、研究活動	夏季休暇中 春季休暇中	1週間程度	1 単位 2 単位	学部による補助金制度なし
	外国語研修	2017 年度入学生 外国語研修 I・II (2016 年度以前入学生は単位付与なし)	不可	1年生以上	ドイツ、フランス、中国、ロシア、インドネシア等 担当教員による	外国語研修および文化交流	夏季休暇中 春季休暇中	2～4 週間	2 単位 (2017 年度以降入学生)	学部による補助金制度あり
	ビジネスインターンシップ (ビジネス・インターンシップ I・II)		不可	2年生	ベトナム	現地の企業においてインターンシップ	夏季休暇中 または春季休暇中	4 週間程度	2 単位	学部による補助金制度あり
国際経営学部	Global Studies	Global Studies (MSU)	不可	1年生・上級生の未履修者	Minnesota State University, Mankato (アメリカ・ミネソタ州)	事前授業 (週 1 回) 短期留学プログラム (夏季休暇期間)	夏季休暇中	3 週間	4 単位	なし
	Global Studies	Global Studies (CSUEB)	不可	1年生・上級生の未履修者	California State University, East Bay (アメリカ・カリフォルニア州)	事前授業 (週 1 回) 短期留学プログラム (夏季休暇期間)	夏季休暇中	3 週間	4 単位	なし
	Global Studies	Global Studies (CSI)	不可	1年生・上級生の未履修者	College of Staten Island, The City U. of NY (アメリカ・NY 州)	事前授業 (週 1 回) 短期留学プログラム (夏季休暇期間)	夏季休暇中	3 週間	4 単位	なし
	Global Studies	Global Studies (WDC)	不可	1年生・上級生の未履修者	Washington D.C. (アメリカ)	事前授業 (週 1 回) 短期留学プログラム (夏季休暇期間)	夏季休暇中	3 週間	4 単位	なし
国際情報学部	ICT 留学	ICT 留学	不可	1～4 年次	オーストラリア・ブリスベン クイーンズランド工科大学	事前学修 (前期授業期間内) 夏季休業期間の現地派遣	7 月下旬～8 月下旬	4 週間	あり	ICT 留学給付奨学金
	国際 ICT インターンシップ	国際 ICT インターンシップ	不可	1～4 年次	アメリカ・カリフォルニア カリフォルニア州立大学イーストベイ校	事前学修 (後期授業期間内) 春季休業期間の現地派遣	2 月上旬～2 月下旬	2 週間	あり	国際 ICT インターンシップ給付奨学金
全学連携教育機構	グローバル FLP		可	2年生以上	アメリカ・ボストン	夏季集中: グローバルアクティブラーニング 後期: グローバル遠隔ラーニング 上記 2 科目をセット履修	夏季休暇中 (9 月上旬)	1 週間程度	グローバルアクティブラーニング: 1 単位、グローバル遠隔ラーニング: 2 単位	最大 39,000 円の補助費制度あり
	グローバル FLP	専門インターンシップ	可	1年生以上	指定無し (原則インターンシップの受入先は学修の一環として履修生自身に交渉して探してもらいます。なお、前期・後期ともに最大 1 名まで推薦枠としてロンドン在住の本科目担当講師の企業でインターンシップを行えるロンドン受入のオプションもあります。)	海外の企業において、夏季または春季休暇中に 2 週間の就業経験を行う。	前期: 夏季休暇中 後期: 春季休暇中	2 週間	1 単位	最大 39,000 円の補助費制度あり

5. 各制度の比較と留学のロードマップなど

長期留学（交換留学・ISEP留学・認定留学）、語学留学（休学）、短期留学制度の比較

*各内容は変更になる場合があります

留学制度	留学先	留学期間	留学目的	募集人数	GPA 要件	語学要件	学内選考	単位認定	学籍状態	中大の学費	留学先の学費	情報収集	募集要項配布	留学説明会	応募時期	応募方法	面接選考 (本学)	選考結果	留学時期	長期留学支援奨 学金への出願	トビタテ留学 JAPAN への 出願	TOMODACHI 住友商事奨学 金への出願	業務スーパー ジャパンド リーム財団奨 学金への出願	JASSO 海外 留学支援制度 (協定派遣) への出願
交換留学	協定校	1学期間または1学年間	専門分野学修 +α	各協定校1名 ～5名程度	【最低要件】学部生：2.00以上、院生：3.00以上 ※協定校が課すGPA要件を満たすこと	【最低要件】TOEFL iBT：59以上 IELTS(アカデミックモジュール)：5.5以上 ※協定校が課す語学要件を満たすこと	有 (ISEPと合わせて第5希望まで志望大学を提出できる)	有	在学	納入	原則免除 (学費納入の協定校も有)	・海外留学ガイドブック ・過去の長期留学募集要項(HP)	春派遣：留学前年の4月 秋派遣：留学前年の10月	春派遣：留学前年の4月(予定) 秋派遣：留学前年の10月(予定)	春派遣：留学前年の5月下旬～6月上旬 秋派遣：留学前年の11月	最新の募集要項を確認	有 (ただし、学部による)	春派遣：留学前年の7月 秋派遣：2月	春派遣：2月～7月(1学期間)、2月～12月(1学年間) 秋派遣：8・9・10月～12・1・2月(1学期間)、8・9・10月～翌年5・6・7月(1学年間) ※留学先大学による	○	○ (実践活動を計画する必要あり)	○ (アメリカの大学へ留学する学部生のみ)	○ (語学研修を目的とした留学を除く、GPAや語学要件あり)	○ (GPA要件あり)
ISEP	ISEP 加盟校	1学期間または1学年間	専門分野学修 +α	ISEP Exchange 5名程度 ISEP Direct 3名程度	【最低要件】学部生：2.00以上、院生：3.00以上 ※自身が志望する ISEP 加盟校が課す GPA 要件を満たすこと	【最低要件】TOEFL iBT：59 以上 IELTS(アカデミックモジュール)：5.5 以上 ※自身が志望する ISEP 加盟校が課す語学要件を満たすこと	有 (ISEP と合わせて第 5 希望まで志望大学を提出できる)	有	在学	納入	ISEP Exchange は免除 / ISEP Direct は負担	・ ISEP ウェブサイト ・ 留学報告書 (manaba 留学 info ライブラリー)	春派遣：留学前年の 4 月 秋派遣：留学前年の 10 月	春派遣：留学前年の 4 月 (予定) 秋派遣：留学前年の 10 月 (予定)	春派遣：留学前年の 5 月下旬～6 月上旬 秋派遣：留学前年の 11 月	まずは本学長期留学に応募→その後 ISEP に本出願	有 (ただし、学部による)	春派遣：留学前年の 7 月 秋派遣：2 月	春派遣：2 月～7 月 (1 学期間)、2 月～12 月 (1 学年間) 秋派遣：8・9・10 月～12・1・2 月 (1 学期間)、8・9・10 月～翌年 5・6・7 月 (1 学年間) ※留学先大学による	○	○ (実践活動を計画する必要あり)	×	×	×
認定留学	各自が選択	1学期間または1学年間	専門分野学修 +α	各自確認	各自確認	各自確認	有 (それぞれの学部・大学院で認定留学要件有)	有	在学	納入	納入	留学先の応募要項 ※留学幹旋団体等を通じて認定留学先を調べることも可能	留学幹旋団体等を通じて各自確認	各自確認	留学幹旋団体等を通じて各自確認	①留学先より「受け入れ許可書」受取 ②出発の3か月前までに所属学部事務室へ「認定留学願」提出	有 (ただし、学部による)	認定留学願提出後	各自確認	○	○ (実践活動を計画する必要あり)	×	×	×
語学留学 (休学)	各自が選択	各自が選択 (例：1学期間または1学年間)	語学習得	各自確認	各自確認	各自確認	無	無	休学	休学費用 納入	納入	各自確認	各自確認	各自確認	各自確認	所属学部事務室へ所定の期間に「休学願」を提出	無	各自確認	各自が選択	×	○ (実践活動を計画する必要あり)	×	×	×
短期留学	協定校	2週間～1か月	語学研修 + 課外活動	15名～30名程度 (プログラムによる)	選考で考慮される	英語圏の場合 TOEIC400 点程度が目安 仏・独・西・中国語は既修者のみ 韓国語は要件なし	○	○ (2単位または4単位)	在学	納入	納入 (プログラム費等)	・短期留学募集要項 ・短期留学カレンダー ・留学体験談	春：9月中旬 夏：3月中旬	春：10月上旬 夏：4月上旬	春：9月下旬～10月中旬 夏：3月下旬～4月上旬	Cplus アンケート	—	春：10月中旬 夏：4月中旬	春：2月～3月 夏：8月～9月	—	—	—	—	○

* ISEP Exchange では別途、Application fee、Placement fee、保険料を ISEP に、プログラム費用（1セメスターあたり 64 万円 / 2024 年実績）を本学に支払う必要がある。ただし、留学先での寮費・食費は免除。
* 各学部・大学院の奨学金は、各自確認すること。

留学計画から実現までのタイムテーブル

● Point：早めに情報収集して、留学計画を立てましょう！また、希望する留学先大学の語学要件を満たすことができるように早めに語学の勉強を開始しましょう！

留学準備スタート！

応募の約1年前から準備することをおすすめします！

派遣者が一番多い！

交換留学・ISEP 留学		留学前年度							留学年度				
前年 10 月～3 月	4 月	10 月	11 月中旬～	12 月～1 月	2 月上旬	2 月～3 月	4 月	5 月～7 月	8 月～10 月	12 月～2 月 (1 セメスター留学の場合)	5 月～7 月 (1 年留学の場合)		
秋派遣 (北米・欧州・アジア・中米)	情報収集、留学計画作成開始・ 語学スコア準備	募集要項発行	応募締切	学内選考	選考結果	留学先大学の 出願手続き	・ビザ申請 ・保険手続き ・航空券手配 ・オリエンテーション参加	出発 (留学先によって 出発月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)			

交換留学・ISEP 留学		留学前年度							留学年度		
前年 4 月～2 月	3 月	4 月	6 月上旬	6 月～7 月	7 月	9 月～10 月	11 月～1 月	2 月～3 月	7 月頃 (1 セメスター留学の場合)	12 月頃 (1 年留学の場合)	
春派遣 (韓国・オーストラリア)	情報収集、留学計画作成開始・ 語学スコア準備	募集要項発行	応募締切	学内選考	選考結果	留学先大学の 出願手続き	・ビザ申請 ・保険手続き ・航空券手配 ・オリエンテーション参加	出発 (留学先によって 出発月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)	

認定留学		留学前年度		留学年度		
4 月	2 月～3 月	5 月頃	5 月～7 月	8 月～10 月	12 月～2 月 (1 セメスター留学の場合)	5 月～7 月 (1 年留学の場合)
秋派遣 (8 月～9 月) の 場合	情報収集、留学計画作成開始・ 語学スコア準備	留学先大学の出 願手続き	出発の 3 か月前までに所 属学部事務室・大学院事 務室に「認定留学願」を 提出	・ビザ申請 ・保険手続き ・航空券手配 ・オリエンテーション参加	出発 (留学先によって 出発月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)

認定留学		留学前年度					留学年度	
前年	4 月	～11 月	11 月頃	11 月～1 月	2 月～3 月	7 月頃 (1 セメスター留学の場合)	12 月頃 (1 年留学の場合)	
春派遣 (2 月～4 月) の 場合	情報収集、留学計画作成開始・ 語学スコア準備	留学先大学の出 願手続き	出発の 3 か月前までに所 属学部事務室・大学院事 務室に「認定留学願」を 提出	・ビザ申請 ・保険手続き ・航空券手配 ・オリエンテーション参加	出発 (留学先によって 出発月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)	帰国 (留学先によって 帰国月が異なる)	

* 交換留学・ISEP 留学の応募締切等は変更になる場合があります。



留学のロードマップ・モデルケース（学部生の場合）

- ・留学を決意しどの制度を利用して留学をしたいか決めたら、卒業までにスケジュールを立ててみましょう。
- ・どのタイミングで留学をするのが自分にとってベストなのか下記の表を参考にじっくりと検討してみましょう。
- ・留学のパターンは下記モデルケースが全てではありません。

CASE① 2年次の秋から交換留学（こんな学生におすすめ！→就活になるべく重複しないように早めに留学したい）

			大学 1 年							大学 2 年												大学 3 年												大学 4 年							
留学の種類	時期	学年	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	12 月	3 月		
交換留学 ISEP	秋派遣	2 年次	入学	募集要項 配布・募 集説明会	応募書類 提出	選考		留学先 決定	渡航準備					留学 ※ 1 セメスター留学の場合は 12 ～ 3 月に帰国 ※ 出発時期、 帰国時期は国によって異なる。																											卒業

CASE② 3年次の秋から交換留学（こんな学生におすすめ！→しっかりと語学準備をしたい。就活とは重複するが中大で 専門科目をしっかりと勉強してから留学したい）

			大学 1 年							大学 2 年											大学 3 年												大学 4 年										
留学の種類	時期	学年	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	12 月	3 月				
交換留学 ISEP	秋派遣	3 年次	入学													募集要項 配布・募 集説明会	応募書類 提出	選考		留学先 決定	渡航準備						留学 ※ 1 セメスター留学の場合は 12 ～ 3 月に帰国 ※ 出発時期、帰国時期は国によって異なる。																卒業

CASE③ 4年次の秋から半期の交換留学（こんな学生におすすめ！→卒業前に半期留学して卒業したい）

	時期	学年	大学 3 年												大学 4 年											
留学の種類	時期	学年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
交換留学 ISEP	秋派遣	4 年次～ (1 セメ)							募集要項 配布・募 集説明会	応募書類 提出	選考		留学先 決定	渡航準備			留学									卒業

帰国時期が1月～2月の場合、留学先で取得した単位が認定されない場合があります。
留学応募前に必ず所属学部事務室に確認してください。



CASE④ 4年次から1年間交換留学（こんな学生におすすめ！→卒業延期してでも1年間留学したい）

	時期	学年	大学 3 年												大学 4 年												大学 5 年							
交換留学 ISEP	時期	学年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	3 月		
交換留学 ISEP	秋派遣	4 年次～ 5 年次							募集要項 配布・募 集説明会	応募書類 提出	選考		留学先 決定	渡航準備			留学												9 月または 3 月に 卒業					

卒業延期制度で留学に行く場合や9月卒業の申請については必ず事前に所属学部事務室に相談をしてください。

CASE⑤ 3年次の春から交換留学（こんな学生におすすめ！→オーストラリアまたは韓国に留学したい）

			大学 1 年							大学 2 年											大学 3 年												大学 4 年										
留学の種類	時期	学年	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	12 月	3 月				
交換留学 ISEP	春派遣	3 年次								募集要項 配布		応募書類 提出・選 考	留学先決 定	渡航準備						留学 ※ 1 セメスター留学の場合は 7 月頃に帰国 ※ 出発時期、帰国時期は国によって異なる。																							卒業

CASE⑥ 3年次から認定留学（こんな学生におすすめ！→協定校以外の大学へ留学斡旋団体を利用または自己手配して留学したい）

			大学1年							大学2年											大学3年												大学4年											
留学の種類	時期	学年	4月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	8月	12月	3月					
認定留学	秋派遣	3年次														認定留学先リサーチ、留学手続き ※出発の3か月前までに「認定留学願」を所属学部事務室に提出する必要がある。						認定留学 願提出		留学先 決定		留学 ※出発時期、帰国時期は国によって異なる。																		卒業

CASE⑦ 3年次から休学留学（こんな学生におすすめ！→休学して自由に語学留学またはワーキングホリデーに行きたい）

			大学 1 年							大学 2 年											大学 3 年												大学 4 年						
留学の種類	時期	学年	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	12 月	3 月
休学留学	春	3 年次										留学先リサーチ、留学手続き					渡航準備					語学留学・ワーキングホリデーなど（休学）												大学 3 年（履修年次）					

CASE⑧ 2年次の夏休みまたは春休みに短期留学（こんな学生におすすめ！→海外に行ったことがない。在学中に1度は 短期の留学を経験したい）

			大学 1 年							大学 2 年												
	時期	学年	4 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月		9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
短期留学	夏季または は春季	2 年次							下旬 募集要項 配布	上旬 募集締切 / 結果発表 / 事前 授業開始	事前授業（14 回）			短期留学	または	下旬 募集要項 配布	上旬 申込締切 / 結果発表	事前研修	事前研修		短期留学	事後研修

二度留学する
ケース



CASE⑨ 1年次の春休みに短期留学→3年次秋から1年間交換留学（こんな学生におすすめ！→短期留学を経て長期留学 に挑戦したい。）

			大学 1 年							大学 2 年												大学 3 年															大学 4 年					
	時期	学年	4 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	8 月	12 月			
短期留学 交換留学	春季	2 年次		【短期留学】 下旬 募集要項 配布	上旬 申込締切 ／ 結果発表	事前研修	事前研修		短期留学	事後研修							【交換留学】 募集要項 配布・募集 説明会	応募書類 提出	選考		留学先 決定	渡航準備						留学 ※ 1 セメスター留学の場合は 12 ～ 3 月に帰国 ※ 出発時期、帰国時期は国によって異なる。														

様々な留学のメリット・デメリット

留学の種類	留学時期	必要語学力	単位修得	休学	 メリット  デメリット
交換留学					 長期間留学できる・留学先大学授業料不要な大学が多い（一部の大学は要支払い）  準備に時間がかかる
ISEP 留学					 協定校以外の大学へ留学できる・留学先大学授業料免除型あり  募集枠が少ない、多くの場合学外留学奨学金に応募できない
認定留学					 選択肢が広い、所属学部・大学院に申請し留学として認定される必要があるが、学内選考はない  基本的に全ての手配を自身で行う、留学先と中大両方に授業料納入が必要
休学留学					 留学期間や留学先を自分で自由に決められる  卒業時期が延びる
短期留学プログラム (学部間共通科目)					 気軽に留学できる、長期留学に比べると費用が安い  学内選考がある、留学期間が短い、現地での自由度が少ない
学部主催の海外派遣プログラム		プログラムによる			 学部独自のプログラムに参加できる  所属する学部により参加できるプログラムが異なる
国際センター紹介プログラム (インターシップ等)					 職業経験を積むことができる  期間が短い、単位認定なし
大学院留学					 学位を取得できる  周到的な準備が必要

 学期中に留学  休暇を利用して留学  休学して留学  卒業後に留学  可  不可

6. Voices from Our Students

先輩たちの体験記

交換留学経験者

斎藤 圭能

法学部国際企業関係法学科

留学期間

2023年8月～2023年12月

派遣時学年

2年次



アメリカ

ミネソタ州立大学マンケート校

留学を志した理由

留学には元々興味はありましたが、高校時代はコロナウイルスの影響で機会がありませんでした。大学入学後に多くの留学に関するガイダンスや報告会に参加しましたが、私にとっては現実味が薄く憧れのままでした。そんな私が留学について本格的に考えるようになったのは英語上達の目的で受講した国際センターが主催していた語学講座でした。そこでは同じ目標をもった学生や、すでに留学が決まっている先輩と知り合い切磋琢磨することができ、私の中で留学という夢が目標に変わりました。現地の学生と授業を受け、日々の講義やディスカッションを通して専門的知識や思考力を深めることで、日常的な英語だけではなく専門的な英語も身につけたいと考え、交換留学を決意しました。その中でも、ミネソタは多くの企業が拠点を置いている州であることを知り、ビジネスを学ぶには良い環境であることに加え、自分自身が興味のある授業を他学部履修することができるため、ミネソタ州立大学マンケート校を選びました。

現地での授業について

現地では、法学部の科目以外にも多様な科目の授業を履修しました。自分の専門分野外である授業は、日本語でも聞き馴染みのないような専門的な内容を英語で学ぶため、最初は苦労しました。全ての授業において予習復習を徹底し、時には恥などの気持ちを捨てて友人や教授に頼って聞くことを心がけていました。授業で前提として説明される背景や歴史の話から日本と異なる部分が多くあり、理解に多くの時間を費やしたこともありました。法律分野においては法制度の仕組みから日本と異なるため0から学ぶ必要がありました。しかし、そのおかげでビジネス法の授業ではアメリカと日本を背景から比較することができました。他学部履修をした授業でも予想外の場面で自分自身の専攻分野との関連性を見出し、帰国した今でも国際的な要素が絡み合う法的な問題を学ぶ際に結びつきが感じられ、新たな発見をすることがあります。また、自分自身の本来の分野についてもより理解が深まり、複雑化した問題にも深く考えられるようになったのではないかと実感しています。

大友 明希

経済学部国際経済学科

留学期間

2023年8月～2024年5月

派遣時学年

2年次



アメリカ

東テネシー州立大学

留学を志した理由

「海外で働くこと」が幼少期からの夢であり、英語を使って仕事をする事を思い焦がれていました。両親に連れられ何度か海外旅行を経験し、それは今までとは常識外の世界や価値観と触れる機会であり、胸が高鳴ったのを今でも鮮明に覚えています。その旅行を機に、学生時代に留学経験を通して多種多様な価値観や柔軟なコミュニケーション力を吸収したいという思いが強くなっていきました。中央大学では国際経済学を専攻していました。学んでいく中で、より突き詰めるためには多角的な観点から物事を捉える能力が必要であると感じました。日本と結びつきの強いアメリカで、多様な人種から成る歴史や文化・観点から知識を深めていきたいと考え、アメリカ留学を志しました。

現地での授業について

現地大学では経済学や社会学・経営学・コミュニケーション学・仏語など幅広く履修しました。経済分野では、FRB（連邦準備制度）と呼ばれる米国の中央銀行について学びました。FRBの構造・機能、政策決定やそれが経済に及ぼす影響など米国経済の中心を担う機関の詳細を現地で吸収することができました。知識だけでなく、現地学生からみた米国経済と政治の結びつきについての意見も聞くことができ、非常に興味深く貴重な体験でした。仏語では、英語で学ぶことに初めは不安を抱いていたものの留学前の授業で習得した文法知識と講義の穏やかな雰囲気のおかげで楽しむことができました。クラスメイトにとっても仏語は第二言語であり共感することが多く、距離を縮めやすい環境でした。また、講師の方が仏国出身であったため能動的に学ぶ機会が多々ありました。クレープを作り食卓作法や伝統を学んだり、仏語で意見交換をしたりしました。このような実践的な知識を習得することは非常に有意義な経験でした。留学を通して、「自分に集中し何事も前向きに捉えることの重要性」を実感しました。授業や15カ国以上の国の友人との交流など言い表せないほどの貴重な8ヶ月間を体験することができたと感じています。



図書館で中間試験に向けて友人と勉強している時の写真です！



キャンパス内で行われたミュージカル"RENT"を友人と観にいきました！



Thanks giving と呼ばれるアメリカの感謝祭中、親しい友人と14時間のドライブ旅行をしました。



気が合い毎日一緒に過ごした友人とのお気に入りの一枚です。彼女のおかげで毎日がときめきと躍動感で溢れる、忘れることのできない留学生活を送ることができました。

植村 南美

総合政策学部国際政策文化学科

留学期間 2023年9月～2024年4月 派遣時学年 2年次



留学を志した理由

私が留学を志した理由は三つあります。一つ目は多文化主義を掲げる国について実際に現地で学びたかったからです。私は、日本が差別のない多文化共生社会を実現するにはどうしたらよいのかをゼミで研究しています。そのためには多文化主義を実現する国に行き、現地の人々の実態を自分の目で見て、生の声に耳を傾けることが重要だと考え、留学先はカナダを選びました。二つ目は日本について海外で発信したかったからです。3歳から書道が続けている私は、日本の文化の素晴らしさを海外の人に伝えたいと思っていました。日本語や日本文化を教えるボランティアを行い、カナダの人たちに日本に興味をもってもらいたいと考えました。三つ目は実践的な英語コミュニケーション能力を磨きたかったからです。自分の意見をしっかりと英語で表現できるようになりたいと考えました。また、異なる価値観や習慣を現地の人と触れ合う中で知ること大切だと思いました。

現地での授業について

ウィニペグ大学の授業では、専門科目を Human Rights の分野から3科目履修しました。Introduction to Global Citizenship では、国家単位ではなく地球単位の市民権について学び、国境は解放すべきか地球規模の市民権はどのように維持できるのかなど視野を広げることのできる内容でした。History of Human Rights in Canada では、カナダの人権に関する歴史について学び、多文化共生国家と呼ばれるカナダはどのようにして作られたのかを知ることができました。そして Refugees, Resettlement and Resilience は学生たちのディスカッションを交えながらの授業で、各々の経験を共有したり意見交換をしたりして難民への理解を深めました。日本では得られない視点で世界について考えることができ、現地の学生との議論は大変刺激になりました。他にも、大学でボランティア登録をして毎週金曜日にフードバンクの運営を手伝ったり、市内にある日本文化センターで中学生に日本語を教えたり、授業外での活動に積極的に取り組んだことも、貴重な経験になりました。

渡辺 はる

法学部国際企業関係法学科

留学期間 2023年9月～2024年6月 派遣時学年 3年次



留学を志した理由

英語での異文化交流経験を積むため、留学を志しました。幼少期から洋楽が大好きであったことから、英語圏のカルチャーにも興味を抱くようになりました。そのため、現地の文化を体感しながら、同年代の学生と学ぶ合う交換留学に強く関心を持つようになりました。特に、その文化と音楽が好きなイギリスでの交換留学を目指しました。大学では第二外国語に英語を選択し、英語圏への留学経験を持つクラスメイトや、海外経験が豊富な教授からも助言を受けたことも、留学への憧れを現実に近い感覚に近づけた大きなきっかけとなったと思います。当時、外部の学生団体で音楽フェスの運営に携わり、イベントと都市計画の関わりに興味を持ち始めたこともあり、ゼミの研究テーマである都市計画に沿った学びができるシェフィールド大学に注目しました。この大学では、大規模なイベントと都市への影響を学べる授業があり、現地での学びがゼミ研究の深化に繋がると確信し、シェフィールドへの留学を目指しました。

現地での授業について

秋学期には都市計画に関する基礎知識や SDGs と都市の関係性を学び、産業革命が都市に与えた影響や労働者階級の増加による住宅問題を考察しました。The Making of Urban Places という授業では、Bradford という都市へ校外学習に行き、産業革命の社会への影響力を体感できました。春学期には、都市の不等や非正規性について学び、プランニング法や都市経済学も探求しました。特に、Urban Economics では UID モデルを用いて不動産市場の動態を理解でき、非常に有意義な学修経験を積みました。新しい分野を習うことについて不安もありましたが、秋学期でレベル1の授業を多めに取り、都市計画に関する基本的な知識を身につけられたことが、春学期への大きなアドバンテージとなりました。春学期には、秋学期に学んだことを活かし、より発展的な内容を学修することができ、身になりました。さらに、国際色豊かな大学で都市について学ぶことで、それぞれの地域からのリアルな声が聞け、より実用的な知識が身につけられたと感じます。



キャンパスはこじんまりしたアットホームな場所でした。少人数教室が多く、先生と生徒たちの距離はとても近いことが利点です。



クリスマスホリデーにホストファミリーの親戚に会いにアルバータへ連れて行ってもらった際、カナディアンロッキーに登りました。



Bradfordへ校外学習の際訪れた産業革命時代の工場。当時実際に使用されていた機械が展示されており、当時の労働環境が目につくように印象に残っている。



フラットメイトとシェフィールドのクリスマスマーケットへ訪れた際の写真。中心地ではキラキラした観覧車や屋台が並んでおり、海外との文化の違いを1番感じた季節であった。

浅井 未蘭

国際情報学部国際情報学科

留学期間 2023年8月～2024年6月 派遣時学年 2年次



留学を志した理由

小学生の頃から海外旅行や海外ドラマを通じて異文化の面白さに惹かれ、いつか留学することを夢見ていました。そして、大学で国際情報学部所属し、DX(デジタルトランスフォーメーション)への関心を深めるうちに、デジタル技術の先進国であるデンマークに強い興味を持つようになりました。特に、デンマークは世界のデジタル政府ランキングで1位を誇り、ITを活用した行政や社会インフラが整備され、持続可能な社会づくりを実現しています。また、映画や本で知った「ヒュッグ」という北欧独自の概念を実際に体験し、深く理解したいという思いもありました。このような環境でDX活用と現地生活を体験し、視野を広げ、社会課題解決に挑む力を身につけたいと考えたことが、デンマーク留学を志した理由です。

現地での授業について

歴史を誇るコペンハーゲン大学では、デンマーク文化に加え、テクノロジー経済やプラットフォームカルチャーといった情報・メディア分野を履修しました。特にテクノロジー経済の授業では、情報化社会の発展による恩恵だけでなく、その裏にあるリスクや課題についても多角的な理論を通じて学びました。授業は1回3～4時間と長く、ディスカッションやグループプロジェクトが重視され、プレゼンテーションの機会も豊富にありました。また、参考論文をもとに修士課程の学生も含めたクラスで意見を交わし、意欲的な仲間たちに刺激を受けながら充実した時間を過ごしました。その結果、現地の学生と約2カ月かけて17ページの共同エッセイを完成させるなど貴重な経験を積み、留学を通じて「主体的に考え、粘り強く実行する力」を身につけることができました。



現地の寮で一緒に暮らしていた友人と参加したイベントの写真です。旅行やパーティなど彼らとの思い出はかけがえのないものです。



寒く日照時間の短い冬には、友達と編み物をしながらデンマーク人が大切にしている「ヒュッグ」を堪能しました。

志村 怜音

理工学部人間総合理工学科

留学期間 2023年9月～2024年7月 派遣時学年 3年次



留学を志した理由

「挑戦」と一言に尽きます。初めての一人海外、一人暮らし、そしてトルコ語。誰も自分のことを知らず、言語や文化も未知の環境で1年間過ごすことで、自分がどう成長するかを試したかったからです。トルコでの生活を通して、英語やトルコ語を学ぶだけでなく、異なる文化的背景や社会的状況を実感しました。例えば、ウクライナ人学生がロシア人学生と一切話したくないと考える戦争背景や、トルコ人やアゼルバイジャン人が毎日家族と連絡を取るのに対し、日本人やドイツ人はあまり連絡をしないなど、家族観の違いを強く感じました。この経験を通して、今まで当たり前だと思っていたことに対して視野が広がり、一歩引いて考える力がついたと思います。

現地での授業について

中央大学理工学部で社会課題解決に向けて、生態学や健康科学、環境工学や統計学など分野横断的に学んでいます。環境問題への関心が主軸にある私は中東工科大学では建築学部の都市計画学科で都市と地球環境問題との関連性を学びました。トルコでは急速な都市化と都市部の人口増加が起きている一方でインフラの整備が追いついていません。気候変動も相まって都市部の温度が上昇するヒートアイランド現象が起きています。その緩和策として都市緑化技術に期待が高まっていることが分かりました。現地学生と英語でディスカッションや手を動かしながらモデルを作り上げるグループワークを通じて能動的な学びができたと思います。



アンカラ固有のレストラン、ASPAVAにて



三大パラグライディングスポットFethiyeにて大晦日に空を飛ぶ！

吉川 美玖

文学部人文社会学科ドイツ語文学文化専攻

留学期間 2023年9月～2024年7月 派遣時学年 3年次

ドイツ
オスナブリュック大学

留学を志した理由

ドイツ語を始めたのは高校2年生の第2外国語で選択したことからでした。その時からドイツ語に興味を持っていた私は、ドイツ語の音声学や音韻論など、特に言語学的な観点からドイツ語を深めたいと思い、大学で専攻することを決めました。大学で勉強している中で、現地で実際にドイツ語母語話者の方たちが話す会話を聞いてみたい、実際にドイツへ行きドイツの文化を感じたいと、留学意識が強くなりました。ドイツの大学では語学だけではなく、言語学の授業を受けて考察したいと思うようになり、このような経緯を得て、留学することを決めました。

現地での授業について

語学の授業だけでなく、自分の専門分野の授業も履修しました。例えば、言語学の授業2つを履修しました。どちらもオスナブリュック大学の正規の学生しか取っていない授業で、内容としては、言語学の基礎を広く浅く学ぶ講義と、ドイツ語の構文と形態に関する講義でした。正直なところ、とても難しかったです。そのおかげもあり、授業の予習や復習に追われる毎日でした。しかし何も得られなかったのではなく、むしろ多くのことを吸収することができたのではないかと思います。ドイツ語をドイツ語で説明を聞くということで、単にドイツ言語学という学びだけでなく、そこからドイツ言語学に関して自分の中で問いを見つけていました。専門分野とは別に、日本語の授業にもサポーターというような形で参加していたので、第2外国語としての日本語がどのようにドイツ語で教えられているのかなどを、実際にこの目で見てきました。



今日のMensa (Osnabrück大学の学食)



友達の誕生日をSahne (生クリーム)でお祝い

渋谷 海翔

国際経営学部国際経営学科

留学期間 2023年10月～2024年8月 派遣時学年 2年次

マレーシア
ウタラマレーシア大学

留学を志した理由

高校時に NZ で2週間ホームステイを経験し、海外での生活に興味を持つようになりました。そのため、大学入学時から長期留学をしてみたいと漠然と考えておりました。私が所属する国際経営学部では、ほとんどの授業が英語で行われていますが、ディスカッションや授業理解において他の学生に遅れをとることが多く、英語を毎日使う環境で英語力を向上させたいと感じていました。このような状況で、1年春学期に受講した「Global Studies」という授業で、マレーシアで教鞭をとる教授がゲストスピーカーとして招かれ、マレーシア留学についての説明を受けました。そこでマレーシアの英語力の高さや、マレー系・インド系・中華系の三つの民族が共生する多文化環境に非常に興味を持ちました。また授業やニュース等で東南アジアの急速な発展を知り、その中で生活することで人々の活気や成長意欲を吸収できると考えました。これらの理由から、マレーシアでの1年間の交換留学を志望しました。

現地での授業について

私が留学を行った University Utara Malaysia は特にビジネスの分野に力を入れています。中央大学では国際経営学部にも所属していることもあり、ビジネスに関する授業、主にマーケティングの授業を履修しました。一学期目は4科目、二学期目は6科目を履修し、各授業で個人課題、小テスト、グループレポート、グループプレゼンテーション、期末テストの全てが必ず課されました。日本での授業と異なり、特にグループ課題に慣れておらず、また慣れないアプリを使用したため、最初は戸惑いがありました。さらに期末テストは長めの記述形式で、覚える内容が多く、試行錯誤が続きました。それでも、教授やクラスメイトの助けを借りながら全科目で単位を取得することができました。特に二学期目は6科目全てで最も高いA評価を頂きました。また必死に勉強や授業への参加を続けた結果、学んだ内容がしっかりと定着し、ディスカッションやプレゼンテーション能力も向上したと感じています。



友人とシンガポールへ旅行した際の写真



交換留学生のお別れ会の写真

中北 鈴子

文学部人文社会学科中国言語文化専攻

留学期間 2023年8月～2024年6月 派遣時学年 2年次

台湾
国立中山大学

留学を志した理由

中国言語文化専攻の学生として、中国語を話せるようになりたいと思い、大学入学時から留学を検討していました。現地で通用するレベルの中国語を身につけるには留学が必須だと考えたからです。1年生の夏頃に担任教授や国際センターの方と相談し、2年秋から留学に行くことを決めました。留学に向けた情報収集を進めていくうちに、まだ発展途上の台湾南部の文化や雰囲気惹かれ、高雄へ行きたいと思うようになりました。自然が豊かな環境でのスローライフに憧れていたため、山や海がある国立中山大学を選びました(実際には、野生の猿に怯えながら生活していました)。また、台湾の政治にも興味があったので、留学先では政治経済学部にも所属しました。留学生活を通じて中国語が上達し、自信を持って中国言語文化専攻と言えるようになりました。勉強以外では、東南アジアを旅行したり、夜市に行ったり、バイクで遠出したりと、とても充実した1年間でした。

現地での授業について

現地では政治経済学部にも所属していました。他学部履修も可能だったので主に前期は台湾文化を、後期は政治経済について学びました。「政治経済学(政治経済学)」
現地政治経済学部1年生の必修授業です。マルクス経済学や経済成長に伴う環境問題など、政治経済の基本を講義形式で学びます。経済の勉強よりも中国語の経済用語を覚えることが大変でした。テストは、台湾における経済について記述します。台湾の半導体大手企業の経済成長について記述するなど、台湾の政治経済について考える良い機会になりました。「運動与健康; 初級帆船(ヨット)」
とても面白い授業だったので紹介します! キャンパス内にあるプライベートビーチで、ウィンドサーフィンとカヌーを学びました。グループに分かれて順番に練習します。自分の番でない時は海にブカブカ浮かびながらお喋りして待ちます。ウィンドサーフィンの上達と中国語の上達が同時にできる楽しい授業でした。



寮の配管を登る猿達。



春節のライトアップが綺麗な佛光山(お寺)

世界で活躍している卒業生からのメッセージ

外務省勤務（現在：在ブラジル日本国大使館三等書記官）
2021年3月法学部政治学科卒業 **河野 公彦**

学生時代の留学について

大学3年次より1学年間ベルギーのルーヴェン・カトリック大学（KU Leuven）に交換留学

大学入学時から在学中に長期留学をしたいと考えていました。当初はアフリカ・ルワンダの大学への私費留学も視野に入れていましたが、当時関心の高かった分野の学術的情報が豊富なベルギーの大学に行くことを決心し、中央大学と提携校であった KU Leuven に留学しました。同大学は研究機関として大変充実しており、開発学、外交政策論、武力紛争に関する事例研究等、幅広く学習することができました。そして留学を通して、日本を代表し国益を守る仕事に就きたいと考えるようになり、帰国後に公務員試験を受験しました。また、留学中に親しくなった友人と今でも連絡を取り合っており、2022年から2年間ポルトガルで勤務した際には、数年ぶりに再会することができ、大変貴重な友人を作ることができました。

現在のお仕事について

現在は外務省職員として、2024年9月から在ブラジル日本国大使館で勤務しています。それ以前は在ポルトガル日本国大使館外交官補として2年間ポルトガルで研修に従事していました。留学の経験がポルトガル及びブラジルでの勤務で公私ともに活かされていると感じています。ポルトガルでの研修中は、コインブラ大学、リスボン大学で勉強していましたが、ベルギーでの留学で異なるバックグラウンドを持つ友人らと知り合い、海外の文化や環境に適応する経験をすでにしていたので、ポルトガルでの海外生活では非常にスムーズに適応することができました。

現在の仕事では、カウンターパートとして交流のある他国の外交官の中で KU Leuven 出身者と知り合うこともあり、人脈形成の観点からも留学経験が役に立っています。また、仕事でポルトガル語と英語を頻繁に使用するので、英語力を鍛えることができたベルギー留学が現在の仕事に活きていると実感しています。

在学生へメッセージ

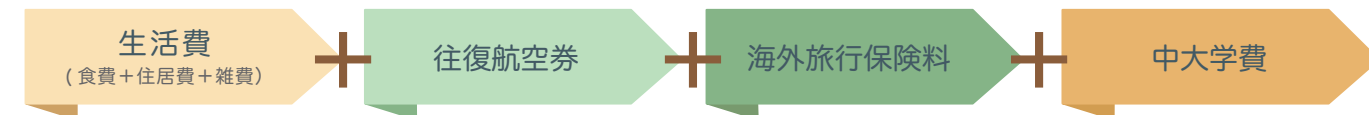
中央大学は留学制度や長期留学給付型奨学金等、学生をサポートする体制が非常に充実しています。在学生の皆さんには、ぜひそれらの機会を利用して充実した学生生活を送っていただきたいと思います。応援しています！



7. その他

交換留学の費用について

交換留学をする場合、下記の費用を準備する必要があります。早めに資金計画を立てましょう。



留学費用は、行く時期、国・地域。為替レートや個人の生活レベルによって異なりますが、下記費用例を参考にしてください。また、各協定校（国）の生活費については、過年度長期留学募集要項「協定校別募集条件一覧」の各協定校「経費」の部分で確認できます。

アメリカへの交換留学（学費納入型・約9か月）

往復航空券	30万円
海外旅行保険	12万円
食費	9万円／月
住居費	8万円／月
その他＊	1万5千円／月
小計（留学先学費以外）	208万円
留学先学費	150万円
合計	約358万円

※留学先学費が免除の協定校もあります

デンマークへの交換留学（約10か月）

往復航空券	25万円
海外旅行保険	12万円
食費	4万円／月
住居費	9万円／月
その他＊	3万4千円／月
留学先学費	免除
合計	約201万円

イギリスへの交換留学（約9か月）

往復航空券	30万円
海外旅行保険	12万円
食費	6万円／月
住居費	13万円／月
その他＊	3万円／月
留学先学費	免除
合計	約240万円

マレーシアへの交換留学（約11か月）

往復航空券	9万円
海外旅行保険	12万円
食費	1万4千円／月
住居費	2万7千円／月
その他＊	3万円／月
留学先学費	免除
合計	約99万円

台湾への交換留学（約10か月）

往復航空券	10万円
海外旅行保険	12万円
食費	5万8千円／月
住居費	2万8千円／月
その他＊	1万8千円／月
留学先学費	免除
合計	約126万円

ドイツへの交換留学（約11か月）

往復航空券	25万円
海外旅行保険	12万円
食費	3万2千円／月
住居費	4万3千円／月
その他＊	5万5千円／月
留学先学費	免除
合計	約180万円

※金額は2023年レートの円換算です。
※実際の費用は行く時期、国・地域、為替レートによって異なります。
※別途、中央大学への授業料納入が必要です。留学先学費の納入が必要な場合があります。
※「その他＊」：通信料、交通費、雑費、図書費等。

Scholarship

留学のための奨学金

1. 長期留学支援奨学金

長期留学（交換留学・ISEP・認定留学）の制度を利用して留学する学生が出願可能です。
今後支援内容等が変更になる可能性があります。詳細は別途発行する募集要項にて必ず確認してください。

留学形態	留学先学費	支援内容
交換留学 ISEP（Exchange） ダブルディグリー	免除	留学期間1年間の場合 ：奨学金 30 万円を給付 留学期間1セメスターの場合：奨学金 15 万円を給付
	納入	留学先に納入した学費（授業料）について、留学年度の本科所属学部・大学院の授業料（在学科）及び実験実習料相当額を上限として、奨学金を給付。なお、留学先に納入した学費（授業料）が半期分である場合、給付額の上限は、留学年度の本科所属学部・大学院の授業料（在学科）及び実験実習料の2分の1相当額とする。
認定留学 ISEP（Direct）	免除【※1】	また、留学先に納入した学費（授業料）が30万円未満（1セメスターの場合は15万円未満）の場合は、留学期間に応じて、以下の扱いとする。 留学期間1年間で留学先に納入した学費（授業料）が30万円未満の場合：奨学金 30 万円を給付
	納入	留学期間1セメスターで留学先に納入した学費（授業料）が15万円未満の場合：奨学金 15 万円を給付

※1 学生本人の努力等により留学先大学の授業料が免除となる場合（例：政府奨学金、公的機関からの奨学金等）、本来負担すべき留学先大学の授業料を負担したと見做し、留学先学費「納入」の場合と同様の取扱いとする。
※他の奨学金との併給について、中央大学外国人留学生奨学金の除く、学内の給付奨学金との併給は可。学外奨学金については、海外留学支援奨学金及び協定校等から支給される奨学金との併給は可。ただし、派遣年度の所属学部・大学院の本科授業料（大学院生：在学科）及び実験実習料を超える場合は不可。
※JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）との併給は可
※在留資格「留学」で在籍する外国人留学生が長期留学する場合、留学年度の私費外国人留学生向け奨学金・学費減免制度に応募不可。

2. JASSO 海外留学支援制度（協定派遣）＊交換留学生のみ出願可

中央大学は2025年度日本学生支援機構（JASSO）海外留学支援制度（協定派遣）の下記プログラムに採択されました。奨学金の応募情報は対象者に2025年4月頃お知らせします。応募情報が出ましたらぜひご応募ください。

2025年度 募集予定プログラム

奨学金名称	支援対象	支援内容	2024 年度採用実績
北米留学奨学金	アメリカ・カナダの大学での学修活動を行う留学を支援	奨学金（月額）：12 万円 /11 万円 /9 万円 /8 万円 ※1 留学準備金：1 万円 ※2	17 名
ダイバーシティ&インクルージョン 奨学金	留学中にダイバーシティ&インクルージョンに関する学修活動を行う留学を支援		15 名
グローバル・アントレプレナーシップ奨学金	留学中にビジネス分野での活動を想定した学修活動を行う留学を支援		15 名
欧州留学奨学金	欧州の大学での学修活動を行う留学を支援		—
アジア・オセアニア 留学奨学金	アジア・オセアニアの大学での学修活動を行う留学を支援		—
サステイナブル社会実現 PBL 型留学奨学金	留学中に、サステイナブルな社会を実現するために、その地域や国が抱える諸問題を複眼的にアプローチし解決策を考察し、その成果をプロジェクトレポートとしてまとめる PBL 型留学を支援	※1 留学先国・地域により異なる ※2 家計基準・派遣期間により異なる	—
短期留学奨学金	学部間共通科目「短期留学プログラムⅠ・Ⅱ／Ⅲ・Ⅳ」（夏季休業に実施）で語学研修に参加する学生を支援		40 名

※国際センターが募集する「長期留学支援奨学金」と併給が可能です。
※本制度以外の派遣プログラム参加のための奨学金等（渡航に係る費用及び返済が必要な貸与奨学金や学費ローンは含まれない）を受ける場合、当該奨学金の支給月額（複数の団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額）本制度による奨学金月額を超えないこと。

3. 学部別の奨学金

学部	奨学金名称	学部	奨学金名称
法学部	グローバル・プログラム奨学金	文学部	短期留学プログラム給付奨学金
	増島記念奨学・奨励給付奨学金		長期留学奨励奨学金
	やる気応援奨学金（一般部門・海外語学研修部門・長期海外研修部門）		フランス語圏派遣留学生特別奨学金（卒業生篤志家寄付）
経済学部	グローバル人材育成奨学金		学外活動応援奨学金
商学部	商学部グローバル・スポーツ・ビジネス・キャリア特別奨学金（明治安田生命寄付金）	国際経営学部	長期留学・海外インターンシップチャレンジ奨学金 / Challenge Scholarship for Long-term Study Abroad and Overseas Internships
	商学部グローバルインターンシップ奨学金	国際情報学部	ICT 留学給付奨学金
	商学部留学プログラム給付奨学金（短期留学）		国際 ICT インターンシップ給付奨学金
	商学部留学プログラム給付奨学金（1セメスター留学）	理工学研究科	理工学部・理工学研究科たくみ奨学金
	チャレンジ奨学金（オーバーシーズ・プラン）		
理工学部	理工学部・理工学研究科たくみ奨学金		
	理工学部留学プログラム給付奨学生（短期留学）		

4. 学外の海外留学奨学金

留学形態や留学先、プログラム内容によって、出願可能な奨学金は異なります。応募回数や応募期間が定められているため、早くから情報収集することが重要です。下記は、2025 年度募集条件に基づいた情報であるため、変更になる場合があります。随時、確認してください。

奨学金制度	支援対象（諸条件あり）	支援内容	〔参考〕情報収集のための QR コード	〔参考〕学内応募期間	出願できる留学形態	他の留学奨学金との併給可否	2024 年度採用実績
TOMODACHI 住友商事 奨学金プログラム	アメリカの大学へ交換留学する学部生対象	年間 180 万円		2025 年1月下旬～2 月初旬	交換留学	×	1 名
業務スーパー ジャパンドリーム財団 奨学金	語学研修を含まない交換留学のみ対象	月額 150,000 円～200,000 円 ※他に留学一時金も給付あり		・1 回目募集：2025 年12 月初旬～2025 年1 月中旬 ・2 回目：2025 年6 月初旬～2025 年7 月中旬	交換留学	×	6 名
トビタテ！留学 JAPAN	実践活動を計画する必要あり	留学先国・地域、家計基準により異なる。 詳細はトビタテ公式の募集要項参照。		2025 年2 月初旬	交換留学・ISEP・認定留学など	○ 条件あり＊	4 名

＊留学中に行うインターンシップ等の報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、その平均月額（総額を留学起案の月数で除した金額）が、本制度による奨学金月額を超えない者。
他団体等から奨学金を受ける場合、奨学金支給団体側が本制度の奨学金などの併給を認めない場合があるので、各自当該団体に確認が必要。「海外留学支援制度（協定派遣、学部学位取得型、大学院学位取得型）」との併給は不可。

5. 留学をサポートする奨学金などの情報を収集しよう！

上記以外にも多種多様な奨学金があります。詳細は奨学金検索サイトをご参照ください。

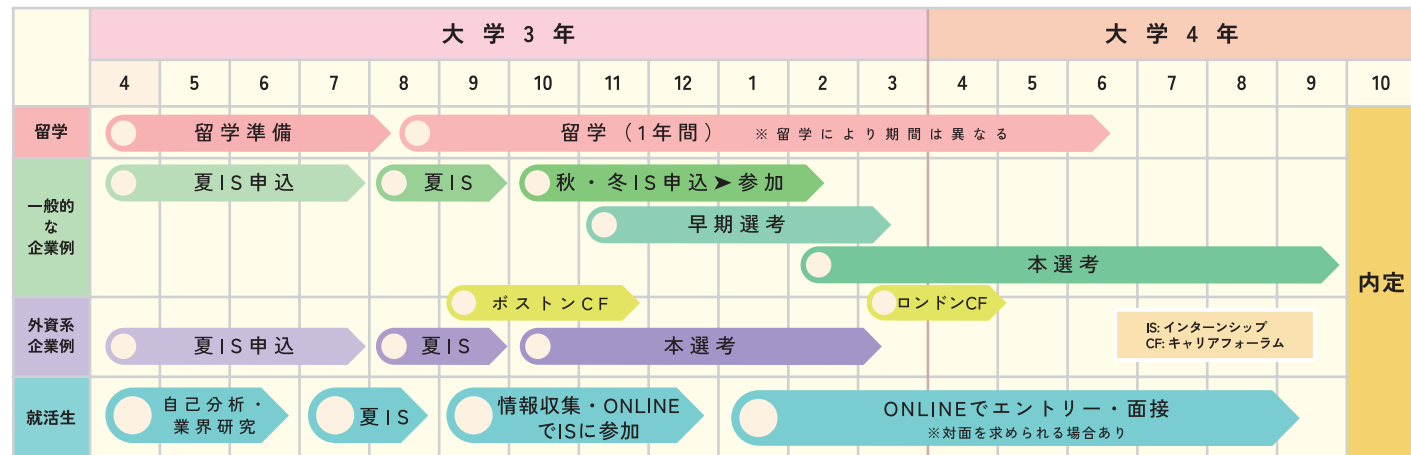
ホームページ名称	関連 URL	QR コード
ガクシー	https://gaxi.jp/	
JASSO 海外留学 奨学金検索 H P	https://ryugaku.jasso.go.jp/form/search.php?f=scholarship_abroad.html	
トビタテ！留学 JAPAN 奨学金検索 HP	https://tobitate-mext.jasso.go.jp/scholarshipsearch/	
中大の奨学課の HP	https://www.chuo-u.ac.jp/campuslife/scholarship/outbound/	

Job hunting

就職活動について（情報提供：中央大学キャリアセンター）

3年秋から留学する場合

3年次秋派遣以降に留学される方は、留学が就職活動の時期と重なる場合があります。留学と就活をどのように平行して進めていくか、以下の例を参考にしてください。



【就職活動スケジュール例】

3年生 3月～ 企業の採用広報活動本格化、Webエントリー開始、企業説明会への参加、ES提出等

4年生 6月～ 選考 ※スケジュールは企業によって異なり、3年生秋頃開始の企業もあります。

就職活動を行う学生は、上記のスケジュールを考慮しながら、自己分析、企業研究（卒業生訪問等）、履歴書・エントリーシート作成、筆記/面接試験対策を行っていく必要があります。ただし、企業によっては上記のスケジュールとは異なる流れで行う場合もあります。志望企業の採用スケジュールは、常に把握しておくよう心がけましょう。また、次年度以降に就職活動を行う場合でも、志望する業界や企業が現時点でどのようなスケジュールで採用活動をおこなっているかを事前に調べておくと、留学後の就職活動についても見通しが立てやすくなります。

留学前にできること

留学中は忙しくなるので、筆記試験対策、自己分析、企業・業界研究を留学前に進めましょう。また、夏に短期間のオープンカンパニーやインターンシップをしてから留学に行くのも良いでしょう。

留学中にできること

留学期間中は学業に集中することが求められていますが同時並行で就職活動を行うこともできます。オンラインでエントリーし、面接を受けたり（対面を求められることもあります）渡航先で実施されるキャリアフォーラムに参加してもよいかもしれません。

帰国後にできること

帰国後にも「留学から帰国される学生向けの合同企業説明会」などが実施されます。以下に中大生と企業のマッチングイベントの一例を紹介します。

ジョブチャレンジ

● 説明会＋面接等選考を実施

● 就職活動継続中の学生のほか、資格試験や公務員志望から民間就職へ変更する学生に対応

対象：4年・院2年

時期：6月～12月頃



就職活動

帰国時期が3年生の3月以降の場合は、筆記試験対策、自己分析・企業研究など、留学前や留学先でもできる準備をし、帰国後すぐに就職活動が始められるようにしておきましょう。下記に留学期間中にできる就職活動の準備例を示しますので、ぜひ参考にしてください。

また、留学前にキャリアセンターが実施しているプログラムに参加して、就職活動について理解をしておきましょう。

01 ホームページを活用した企業研究

多くの企業は、自社のホームページに採用情報のページを設けており、企業理念や事業内容、先輩社員の紹介など、採用に関するコンテンツを閲覧することができます。留学先からでも日本の企業・機関のホームページにアクセスできる環境を整えることで、企業について知ることはできますので、志望する企業については必ず留学中から調べておきましょう。

02 就職情報サイトの活用・関心のある企業へのエントリー、オープン・カンパニーやインターンシップ参加

多くの企業は、就職情報サイトを活用して採用活動を行うため、就職情報サイトへの登録は必要不可欠です。登録自体は、就職情報サイトがプレオープンする3年生から可能（その時期は、オープン・カンパニーやインターンシップの情報が多い）です。できるだけ早い時期に登録し、就職情報サイトの使い方に慣れ、オープン・カンパニーやインターンシップにも積極的に参加しましょう。現在は、オンラインで参加可能なプログラムもあります。企業・業界理解を深め、就業意欲を創造しましょう。

03 留学先での企業訪問

留学先に、日本企業の海外現地支社、あるいは日本法人を有する外資系企業がある場合は、企業訪問をしてみましょう。企業訪問をすることで、その会社の事業や今後の方向性など、働き方を具体的にイメージできるようになるのでお勧めです。そのほか、留学生を対象に現地またはオンラインで開催されるキャリアフォーラムなどのイベント（ポストンキャリアフォーラム等）もあります。企業との接点を持つ機会は留学先でもありますので、ぜひ積極的に行動しましょう。

04 自己分析、業界研究、筆記試験対策

自己分析や業界研究・企業研究は留学先でもおこなうことができます。就職活動は、「自分」のことを企業に伝える場です。そのためにも、「自分を知ること」と「相手（＝企業）を知ること」は、早めから取り組みましょう。また、人気企業のほとんどがwebテストまたは筆記試験を課しています。留学から帰ってきたばかりだと、特に時事問題に疎くなりがちです。留学中もインターネット等で日本国内の動きなどをチェックしておきましょう。

留学は就活に有利か？

産業構造の変化や、企業の国際化の促進などの要因により、企業は海外でも活躍できる人材を求めています。しかし、留学経験を持つ人やTOEIC/TOEFL等の点数が高い人も年々増えているため、「留学した」という経験だけで、無条件に就職活動が有利になるという時代ではありません。ただし、異文化のなかで生活する経験は、単に語学の習得に留まらず、異なる背景や価値観をもつ人々と、コミュニケーションを通じて関係を築くという経験を通じ、成長できるチャンスであることは間違いありません。就職活動では、留学という経験を通して自分がどう成長したか、ということを意識して伝えるとよいでしょう。

就活の情報収集は、Career Center net 進路・就職支援Webサービスを活用しよう！

Career Center net ▶▶



外国語講座について

国外留学を目指す皆さんにとって、欠かすことのできない語学力強化。国際センターでは、春季・夏季休暇中と授業期間中(前期・後期)にさまざまな課外講座を実施し、自慢の講師陣が豊富なノウハウをもとに、皆さんの語学学習を徹底的にサポートします。中大生のみなさんは、大学の補助により低価格の受講料で受講することができますので、留学・資格取得・海外インターンシップ・就職活動などに是非お役立てください。

**やればできる。お得に学べる。
中大生のための外国語講座**

英語はもう当たり前の時代。
悩めるあなたに、英語力アップの秘訣を教えます。
1.7万名超の中大生が受講した人気講座で
英語スキルをピカピカに磨きませんか!?




≫ 外国語講座のおすすめポイント

POINT 01 充実の講師陣



TOEIC 講座では連続満点講師を含む本学の精鋭講師陣がセッション毎に異なる攻略法を惜しみなく伝授。TOEFL/IELTS 講座では、高品質かつ実践的な参加型学習プログラムを通して解法テクニックを効率よく伝授します。

POINT 02 スコアアップ実績



受講後に実施するテストで受講成果を確認することができます。年2回実施している TOEIC IP テストでは、講座受講生のうち約70%がスコアアップ。そのうち約30%は100点以上のスコアアップを果たしています。

POINT 03 納得の満足度



受講アンケート結果では5点満点中4.3点という高い満足結果が得られており、全体のリピート受講率は約30%です。また、交換留学(英語圏)に出願する学生のうち、約40%の学生がTOEFL/IELTS 講座を受講しています。

POINT 04 絶対お得な受講料



大学の補助により、充実のカリキュラムを安価な受講料で学ぶことができます。また、法人団体割引により、提携先のスタディサプリ ENGLISH や DMM 英会話などの民間サービスを大変お得な受講料で提供しています。

≫ TOEFL / IELTS 講座

留学のために必要となるTOEFLまたはIELTS試験のスコア取得サポートを目的とした講座です。講師やプログラムなど、授業は英会話教育に定評のあるECCが提供します。スコアアップ攻略法を効率よく学び英語の4技能をバランス良く高め、留学前だけでなく、留学後にも役立つ英語力を養うことを目指しています。募集期間など詳細はQRコードから国際センターのHPでご確認ください。

レベル	コース名	受講料	QRコード
初・中級	TOEFL・IELTS講座 基礎コース	20,000円(税込)	
上 級	TOEFL講座 攻略コース	20,000円(税込)	
上 級	IELTS講座 攻略コース	20,000円(税込)	

※開催は年4回、期間中週2回100分授業を受講する春学期・秋学期、5日間連続で終日学が春期・夏期の集中講座から選択できます。期間連続での受講も可。いずれも授業時間は合計1600分です。

受講生の声 法学部 F.Sさん

講師の方はIELTSの試験構成から教えてくださり、この試験に特化した4技能の解き方や時間配分も伝授してくださいました。また、留学という同じ目標を持った方々と勉強できるので、高いモチベーションで英語学習に取り組むことができました。効率的にスコアを伸ばせる上に価格も安いので本当におすすめです！IELTSすらも知らないところからのスタートでしたが、この講座のおかげで留学の基準を満たすことができました。ぜひ受講してみてください！



≫ DMM英会話

断然お得！オンライン英会話を団体割引価格で提供！

※2025年度は春(4月)・秋(9月)に広報および募集受付予定

スタンダードプラン

5ヵ月コース 18,500円

月あたり3,700円(通常6,980円)

47% OFF

プラスネイティブプラン

5ヵ月コース 57,500円

月あたり11,500円(通常19,880円)

42% OFF



お問合せ先 国際センター事務局 外国語講座担当 TEL: 042-674-2221 / MAIL: ic-gogaku-grp@chuo-u.ac.jp

Gスクエア・国際教育寮について

≫ G² (Gスクエア)

多摩キャンパス ヒルトップ2階



学内に居ながら異文化や多様性に触れることのできる国際的な人材育成のきっかけ作りの場所として、中央大学在学生在が参加可能な「国際交流・異文化理解に関するイベント」や「学生同士の言語交換を目的とするランゲージ・ラボ(ランラボ)」を開催しています。Gスクエアの活動情報はInstagram「中央大学Gスクエア(chuog2)」で発信していますので、お気軽にご参加ください。



≫ 中央大学国際教育寮

多摩キャンパス内にある国際教育寮(IRC)



日々の生活の中で、「海外留学のような体験」ができます。2024年度は、学生の約6割が外国籍でした。寮では、多くの友人を作りたい人、留学に向けて語学力を磨きたい人、国際交流を楽しみたい人など、さまざまな目的を持つ仲間が集まります。寮生活を通じて、充実した中大ライフを実現しましょう！

寮費：64,600円(月額)

※水光熱費、インターネット代込み

居室：約10㎡(エアコン、洋服掛け[オープンクローゼット]、ベッド、机、椅子、冷蔵庫、照明、カーテン、室内物干し金具、無線LAN、テレビ端子[地上波のみ])

募集情報は上記QRコードから



留学イベント

CHUO 留学イベント *annual*

年間様々な留学イベントを開催しています。お気軽にご参加下さい。
内容が変更になることがあります。

Let's go study ABROAD!!

- ・留学全般説明会@多摩
- ・留学全般説明会&相談会@後楽園
- ・留学全般説明会&相談会@茗荷谷



4月

5月

- ・留学希望者のための就活ガイダンス
via オンライン



6月

- ・留学経験者相談会@多摩 G スク



7月

- ・留学経験者相談会@多摩 G スク



9月

- ・留学全般説明会&相談会@茗荷谷

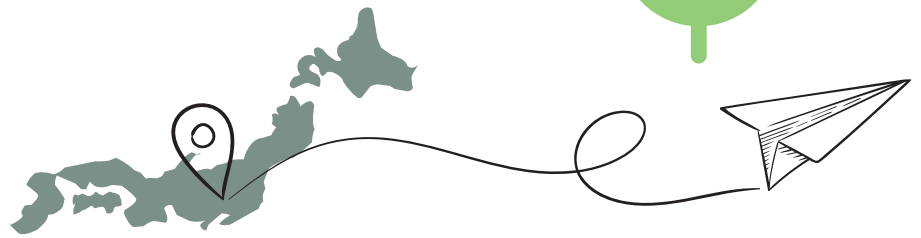
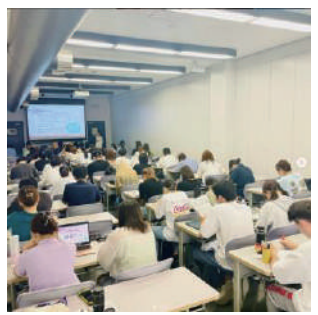


10月

- ・留学全般説明会&相談会@後楽園
- ・留学全般説明会&相談会@市ヶ谷田町
- ・秋派遣長期留学募集説明会@多摩
- ・秋派遣長期留学募集説明会&相談会@茗荷谷
- ・秋派遣長期留学募集説明会&相談会@後楽園

- ・留学経験者相談会@多摩 G スク
- ・留学希望者のための就活ガイダンス
via オンライン

11月



海外留学 FAQ

● 長期留学全般について

Q 留学期間は半年と1年間のどちらかを選べますか？

A はい、どちらかを選択できます。ただし、半年の留年は留学先大学の前期（秋派遣の場合は8～10月）からのみ留学可能とします。また、同じ留学先大学において半年と1年を併願することはできませんのでご注意ください。

Q 長期留学（交換留学・ISEP 留学）の場合、中央大学と留学先大学の両方で学費を支払う必要はありますか？

A 長期留学（交換留学・ISEP 留学）は、中央大学の学費を支払う必要があります。留学先大学の学費は原則として免除となります。但し、アメリカ、カナダの協定校の一部は、留学先学費全額または一部納入をする必要がありますので注意してください。ISEP Exchange は、留学先学費は免除となります。ISEP Direct は留学先学費を支払う必要があります。

Q 長期留学（半年・1年）する場合、休学する必要はありますか？1年間卒業が伸びてしまいますか？

A 長期留学制度（交換留学・認定留学・ISEP）を利用して留学する場合は、本学に在籍した状態で留学に行くため、休学する必要はありません。留学期間中に取得した単位も、本学の単位として認定対象となります。よって、本学の授業で取得した単位と留学中の単位を合計し、卒業に必要な単位を満たすことができれば、4年間（学部の場合）で卒業は可能です。それ以外の方法で留学し、留学期間が中央大学の学期と重複する場合、休学が必要になることがあります。所属学部・大学院事務室にご相談ください。

● 留学先大学での履修について

Q 留学先での履修要件とは何ですか？長期留学では留学先での学部や授業は選べますか？中央大学での専攻以外の内容から選ぶことはできますか？

A 履修要件＝Prerequisites は、本学で授業 A を履修していないと留学先で授業 B が履修できないなどその科目を履修するための条件です。履修要件や語学要件を満たすことができれば、希望する学部や授業を選択することができます。中央大学の専攻と異なる内容の授業を履修することもできますが、所属学部・大学院での単位認定に影響する可能性がありますので、事前に所属学部事務室・大学院事務室にご相談ください。

Q 交換留学と ISEP 留学の違いは何ですか？

A 交換留学とは協定校への留学を指します。対して ISEP 留学は ISEP 加盟大学の中から選択した1校へ留学することになります。どちらも長期留学応募期間内に応募ください。
なお、2025 年秋派遣の場合、ISEP Exchange の募集人数枠は大学全体で5名でした。本学での長期留学応募の段階では、ISEP 加盟校から1校選んで応募をしてください。本学の選考で ISEP Exchange へ推薦されることが決まった後、ISEP に本出願することになります。その際に ISEP 加盟校から複数の大学を選択します。選択した内の1校に留学先が決まります。ISEP 留学は協定校への留学（交換留学）ではないので、交換留学を対象としている奨学金（JASSO 海外留学支援制度協定派遣や業務スーパー奨学金など）に応募できません。

Q 長期留学と教職の両立はできますか？

A 教職課程を履修する場合、スケジュール上4年間での卒業は難しくなります。詳細は教職事務室にお尋ねください。

Q 大学院生でも長期留学に応募できますか？

A 長期留学（交換留学・ISEP 留学）は大学院生でも応募可能です。ただし、協定校によっては受入条件が「学部生のみ」の大学もありますのでご注意ください。

Q 交換留学をした時の単位換算はどうなりますか？

A 留学先大学と中央大学では1単位の比重が異なります。留学先で修得した単位数がそのまま本学で認定される訳ではありません（授業時間数を勘案し認定単位数を決定します）。認定される単位数は、本学で通常修得できる単位（学部生：1年間40単位程度）より少なくなるのが通常です。単位認定の詳細は所属学部事務室にお尋ねください。

● 交換留学・ISEP 留学の応募について

Q

希望する留学先大学の倍率を知りたいです。

A

募集要項に記載の「前年度参考データ」をご参照ください。なお、データは前年度の実績に基づいて作成していますので、年度によっては出願傾向に多少の変化が生じる場合があることに留意してください。

Q

成績について、GPA 以外に応募条件はありますか？

A

学部生の場合は、原則的に、在籍 1 か年につき 28 単位を修得していることが必要です。満たしていない場合は学部事務室または国際センターにご相談ください。

Q

長期留学（交換留学・ISEP 留学）に応募するには、いつまでに語学スコアを取得しなくてはいいませんか？

A

毎年、試験によって試験開催頻度や結果が出る時期が異なります。よって、毎年試験ごとの受験期限を設定し、春派遣、秋派遣それぞれの募集要項配布前に公開しています。2025 年度秋派遣長期留学の各語学試験の受験期限に関しては現在発行している募集要項をご覧ください。中央大学では留学に必要な TOEFL・IELTS 試験の講座をはじめとした外国語講座を提供しています。留学準備に活用してください。

● 認定留学について

Q

認定留学する場合、留学先はどうやって探せばいいですか？

A

認定留学の留学先は自分で留学先大学を探るか、留学支援団体を利用して探す方法があります。
例) SAF <https://japan.studyabroadfoundation.org/>
JSAF <https://japanstudyabroad.org/>
海外留学推進協会 <https://www.ryugaku.or.jp/>
自分で留学先大学を探す場合、先輩の体験談を読んだり、興味のある国、文化、学びたい分野からインターネットで情報収集をするといった方法があります。留学希望先大学の Web サイトからシラバスを見ることもできます。

● 短期留学について

Q

募集期間はいつですか？

A

夏季プログラムは 3 月下旬から 4 月上旬、春季プログラムは前年の 9 月下旬から 10 月上旬です。

Q

2026 年度秋派遣交換留学に応募したい学部生です。2025 年度前期までの通算 GPA が 2.00 未満でした。応募できますか？

A

残念ながら応募できません。
・アメリカ、カナダ、ISEP の加盟校の協定校へ応募する際の学力要件は「2025 年度前期（春学期）までの通算 GPA が留学希望先大学の GPA 要件を満たす者」とする予定です。

・アメリカ、カナダ、ISEP の加盟校以外の協定校へ応募する際の学力要件は「次の要件を全て満たす者→①2025 年度前期（春学期）までの通算 GPA が 2.00 以上、②2024 年度後期（秋学期）までの通算 GPA が 2.00 以上取得見込み、③2025 年度後期（秋学期）までの通算 GPA が留学希望先大学の GPA 要件充足見込み」とする予定です。
よって、2025 年度前期までの通算 GPA が 2.00 未満の学生は応募ができません。次年度以降の応募をご検討ください。

Q

選考はどのような基準・方法で行われますか？

A

「GPA」「語学能力」「留学計画」の 3 つの観点を含め、総合的に選考します。

Q

留学先の志望順位はどのように決めたらよいですか？学内選考ではどのように推薦者が決まりますか？

A

所属学部の一選考を経て、国際センターで全学的な調整を行います。全学調整では、ご本人の留学先志望順位を考慮して留学先を決定します。本当に留学したい留学先から順番に順位を付けてください。協定校の募集人数を超えた応募者がある場合には、第 1 志望のグループ内での推薦順位、続いて、第 2 志望以降のグループ内での推薦順位をそれぞれ決定します。従って、できるだけ多くの志望先を書いてください。

8. 2025 年度 秋派遣協定校別募集条件一覧（実績）

- 2024 年 10 月発行の「2025 年度秋派遣長期留学募集要項」に掲載した協定校別募集条件の一部情報を記載しています。詳細な情報は右記サイトの「2025 年度長期留学秋派遣交換留学協定校別募集条件」をご確認ください。
- 秋派遣長期留学の募集要項は毎年 10 月頃に発行します。派遣先大学や各大学の募集条件等は変更されることがあります。長期留学の応募を考えている人は必ず最新の募集要項を確認してください。



主たる授業使用言語「英語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
アメリカ	アリゾナ大学	2 (1 年間 1 人、1 セメスター 1 人)	学部生のみ	免除	2.50 以上	70 以上 (Engineering 履修の場合 79 以上)	6.0 以上 (Engineering 履修の場合 6.5 以上)	—
	カリフォルニア州立大学 モントレーベイ校	2	学部生のみ	※納入	2.00 以上	61 以上	6.0 以上	—
	カリフォルニア大学デイヴィス校	2	学部生 / 大学院生	※納入	学部生 3.00 以上、 大学院生 3.00 以上	◆80 以上 : Full-time Academic ◆71 以上 : Guided Full-Time Academic (12-13 academic units including one fixed communication related course) ◆61 以上 : ESL Preparation Program (A full load of ESL coursework)	◆6.5 以上 : Full-time Academic ◆6.0 以上 : Guided Full-Time Academic (12-13 academic units including one fixed communication related course) ◆5.5 以上 : ESL Preparation Program (A full load of ESL coursework)	—
	サンディエゴ州立大学	1	学部生のみ	免除	2.50 以上	80 以上	6.5 以上	—
	セント・トーマス大学	2	学部生のみ	免除	2.50 以上	79 以上	6.5 以上	—
	テネシー大学ノックスヴィル校	2	学部生のみ	免除	2.00 以上	70 以上	6.5 以上	—
	ノースカロライナ大学アッシュビル校	2	学部生のみ	免除	2.50 以上	80 以上	6.5 以上	—
	パデュー大学	2	学部生のみ	免除	3.00 以上	80 (各セクション 20) 以上	6.5 (各セクション 6.0) 以上	—
	ハワイ大学ヒロ校	2	学部生 / 大学院生 ※大学院生は備考参照	※納入	学部生 2.70 以上、 大学院生 3.00 以上	61 以上	5.5 以上	—
	ハワイ大学マノア校	学費免除 1 名、学費納入 1 名	学部 3 年以上のみ / 大学院生	※納入 (1 名のみ免除)	学部生 2.50 以上、 大学院生 3.00 以上	61 以上 (到着時に英語の Placement test を受ける必要あり。点数によって、専門科目に加え Intermediate or advanced ELI courses を 1 ～ 3 科目履修する必要あり。TOEFL100 以上の場合は Placement test の必要なし)	6.0 以上 (到着時に英語の Placement test を受ける必要あり。点数によって、専門科目に加え Intermediate or advanced ELI courses を 1 ～ 3 科目履修する必要あり。IELTS7.0 以上の場合は Placement test の必要なし)	—
	東テネシー州立大学	学費免除 1 名、学費納入 1 名	学部生 / 大学院生	※納入 (1 名のみ免除)	学部生 2.00 以上、 大学院生 3.00 以上	学部生 : 61 以上 大学院生 : 79 以上	学部生 : 5.5 以上 大学院生 : 6.5 以上	—
	ベネディクティン大学	2	学部生のみ	免除	2.50 以上	79 以上	6.5 以上	—
	ミシシッピ大学	2	学部生 / 大学院生	※納入	学部生 2.00 以上、 大学院生 3.00 以上	◆79 以上 : Full Academic track ◆69 以上 : Academic Courses + ESL 1-2 科目 (concurrent academic and Intensive English Program track)	◆6.0 以上 : Full Academic track ◆5.5 以上 : Academic Courses + ESL 1-2 科目 (concurrent academic and Intensive English Program track)	—
	ミネソタ州立大学マーンゲート校	学費免除 2 名、学費納入 1 名	学部生のみ	※納入 (2 名のみ免除)	2.50 以上	61 以上	5.5 以上	—
	ニューヨーク市立大学ステテンアイランド校	1	学部生のみ	免除	2.50 以上	59 以上 ※ 3.4 年生以上の科目を履修する場合はこの基準よりも高い英語力が要求されることがある。	5.5 以上 ※ 3.4 年生以上の科目を履修する場合はこの基準よりも高い英語力が要求されることがある。	—
	ノースカロライナ大学シャーロット校	2	学部生 / 大学院生 ※ビジネス学部の授業を履修希望の場合は学部 3 年以上	免除	学部生 2.00 以上、 大学院生 3.00 以上	学部生 : 70 (各セクション 14 以上) 以上 大学院生 : 83 以上	学部生 : 6.0 (各セクション 5.0 以上) 以上 大学院生 : 6.5 以上	—
	フロリダ大学	2	学部生のみ	免除	2.00 以上	80 以上	6.0 以上	—
	チュレーン大学ローズクール【法学部・法学研究科 (修士課程のみ)】	2	学部生 / 大学院生 (修士)	免除	3.00 以上	90 以上	7.0 以上	※注意 ・本学の学部生が留学に行く場合でも、現地ではマスタープログラム (大学院修士課程) を履修することになります。 ・交換プログラム参加前に、本学において大学院生は少なくとも 1 年間、法学部生は少なくとも 5 学期間の学部での学習を修了していなければなりません。
カナダ	ウィニベグ大学	3	学部生のみ	※ ELP 納入	3.00 以上	86 (各セクション 20 以上) 以上 : Full Admission (最初のセメスターから専門科目履修可) 61 (R15, L15, W14, S15) 以上 : English Language Program (ELP) (1 学期目) (※有料)	6.5 以上 : Full Admission (最初のセメスターから専門科目履修可) 5.5 以上 : English Language Program (ELP) (1 学期目) (※有料)	—
	ニューファンドランドメモリアル大学	2	学部生のみ	※ Intensive English Bridge Program 納入	2.50 以上	Full Admission: 83 (R20, W20) 以上 Intensive English Bridge Program (IEBP) (1 学期目) (※有料) : 59 - 82 (W:16)	Full Admission: 6.5 (R6.0, W6.0 以上) 以上 Intensive English Bridge Program (IEBP) (1 学期目) (※有料) : 5.5 (W:5.5 他セクション 5.0) 以上	—



国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
カナダ	フレーザーバレー大学	3	学部生のみ	免除	2.50以上	◆88 (各セクション20) 以上：Full-time academic programs ◆80 (各セクション19) 以上：Qualifying Studies (専門3科目程度＋語学) ◆71 (各セクション16) 以上：専門1科目＋語学	◆6.5 (各セクション6.0) 以上：Full-time academic programs ◆6.0 (各セクション5.5) 以上：Qualifying Studies (専門3科目程度＋語学) ◆5.5 (各セクション5.0) 以上：専門1科目＋語学	—
イギリス	サセックス大学	4	学部生のみ	免除	2.80以上	—	6.0 (各セクション5.5) 以上	—
	シェフィールド大学	2	学部生/大学院生	免除	2.30以上	—	◆Chemical and Biological Engineering: 6.0 (各セクション5.5) 以上 ◆Economics: 6.5 (各セクション6.0) 以上 ◆English: 7.0 (各セクション6.5) 以上 ◆Management School(Business): 6.5 (各セクション6.0) 以上 ◆Sociological Studies: 6.5 (各セクション6.0) 以上 ◆Law: 7.0 (各セクション6.5) 以上 *上記要件は一部抜粋。Department別の語学要件は以下のウェブページ参照。 https://www.sheffield.ac.uk/globalopps/inbound/apply/entry-requirements/english-language	—
	マンチェスター大学 (人文科学部)	2	学部生のみ	免除	3.00以上	—	6.5以上 ◆Business and Management：6.5 以上 (各セクション6.0) 以上 ◆Education：6.5 (LRS6.0,W6.5) 以上 ◆Law：7.0 (各セクション6.5) 以上 ◆Social Sciences：6.5 (各セクション6.0) 以上 *上記要件は一部抜粋。Subject別の要件は Search units from available subjects 参照 https://www.manchester.ac.uk/study/international/study-abroad-exchange/unit-search/ *各セクションの要件が定められていない場合、各セクション6.5以上を満たす必要があります。	—
	ヨーク大学	2	学部生のみ	※納入	3.00以上	—	6.5以上 (各セクション6.0) 以上 ◆Law：6.5 (各セクション6.0) 以上 ◆History：6.5 (各セクション6.0) 以上 *上記要件は一部抜粋。モジュール別の語学要件は以下のウェブページ参照。 https://www.york.ac.uk/study/international/applying/visiting-students/courses/ *各セクションの要件が定められていない場合、各セクション6.0を満たす必要があります。	—
	レスター大学	5	学部生/大学院生	免除	3.00以上	—	◆Geography: 6.5 (各セクション6.0) 以上 ◆Law: 6.5 (W6.0, S5.5, L5.5, R5.5) 以上 ◆Chemistry, Computer Science, Engineering, Geology, Mathematics, Physics, or English language: 6.0 (各セクション6.0) 以上 ◆Other subjects: 6.5 (各セクション5.5) 以上	—
	エッジヒル大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.50以上、 大学院生3.00以上	—	6.0 (各セクション5.5) 以上	—
	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院	2	学部生のみ	免除 *4-week pre-session course のプログラム費用は納入	3.00以上 *3.30未満の場合、SOAS出願時に an academic recommendation statement 提出必要	—	6.0 (W6.0, R5.5, L5.5, S5.5) 以上 *IELTS6.0の学生は8月中旬から行われる4-week pre-session course の参加必須 (有科、備考欄参照) *IELTS6.5 (各セクション6.0) 以上の学生は4-week pre-session course の参加不要	—
アイルランド	ドーセット カレッジ	1	学部生のみ	免除	2.00以上	72以上	5.5以上	—
スウェーデン	ストックホルム大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	72以上	5.5以上	—
	リンネ大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	72以上	5.5以上	—
デンマーク	コペンハーゲン大学	3	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	—	◆English/American Language and Culture：80以上 ◆Information Science：83以上 ◆Political Science：80以上 上記以外：59以上 ※詳細は以下のウェブページ参照https://studies.ku.dk/study-abroad/exchange/course-information/proof-of-english-proficiency/ ◆English/American Language and Culture：6.0以上 ◆Information Science：6.5以上 ◆Political Science：6.0以上 ◆上記以外：5.5以上 ※詳細は以下のウェブページ参照https://studies.ku.dk/study-abroad/exchange/course-information/proof-of-english-proficiency/	—
	南デンマーク大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	88以上	6.5以上	—
フランス、イギリス、アイルランド	イーエム・ノルマンディー・ビジネススクール	5	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.20以上	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 (第2・3学年のコース)：72以上 大学院生 (第4・5学年のコース)：83以上 ※キャンパスが5つ (Caen, Le Havre, Paris <フランス> /Oxford<イギリス> /Dublin<アイルランド>) がある。1セメスター中は1つのキャンパスにて授業を履修すること。プログラム (授業) やレベルによって履修するキャンパスが異なる。	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 (第2・3学年のコース)：5.5 (各セクション5.0) 以上 大学院生 (第4・5学年のコース)：6.0 (各セクション5.0) 以上 ※キャンパスが5つ (Caen, Le Havre, Paris <フランス> /Oxford<イギリス> /Dublin<アイルランド>) がある。1セメスター中は1つのキャンパスにて授業を履修すること。プログラム (授業) やレベルによって履修するキャンパスが異なる。	フランス語でのコースを受ける場合：学部生、大学院生-DELF、TCFのB2レベル

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
フランス	バガンディ・スクール・オブ・ビジネス	1	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor：80以上、Pre Master/ Master in Management Year 1: 80以上 大学院生 Master in Management Year 2/ MSc：80以上 ※学部生もPre MasterまたはMaster in Management Year 1のプログラムを履修可能 ※Pre Masterはビジネス専攻でない学生用のプログラム	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor：6.0以上、Pre Master/ Master in Management Year 1: 6.0以上 大学院生 Master in Management Year2/MSc：6.5以上 ※学部生もPre MasterまたはMaster in Management Year 1のプログラムを履修可能 ※Pre Masterはビジネス専攻でない学生用のプログラム	仏語：B2 (DEL F、TCFまたは仏検準1級) 以上
スイス	ジュネーヴ大学	2	※プログラムによっては学部3年以上	免除	学部生2.67以上、 大学院生3.00以上	◆英語でのコースを受ける場合：72 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆英語でのコースを受ける場合：5.5 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆Full Academic：仏語：B2 (DEL F、TCFまたは仏検準1級) 以上 ◆French and English Literature：仏語：C1 (DEL F、TCFまたは仏検1級) 以上 ◆仏語・文化コース (ECOLE DE LANGUE ET DE CIVILISATION FRANÇAISES)：仏語：A2 (DEL F、TCFまたは仏検準2級) 以上
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学サンルイブリュッセル校	2	学部生/大学院生	免除	2.00以上	◆法学部：72以上 ◆その他の学部：59以上	◆法学部：5.5以上 ◆その他の学部：5.5以上	◆法学部：仏語B2 (DEL F、TCFまたは仏検準1級) 以上 ◆その他：仏語B1 (DEL F、TCFまたは仏検2級) 以上
	ルーヴェン・カトリック大学	2	学部生のみ	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	学部生：72以上 大学院生：95以上	学部生：5.5以上 大学院生：7.0以上	—
ドイツ	フランクフルト金融経営大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	90以上	7.0以上	—
クロアチア	ザグレブ大学	2	学部3年以上/ 大学院生	免除	※「ザグレブ」大学の学部により異なる。最終的な受け入れ可否は受け入れ学部が決定する。	79以上	6.0以上	—
オランダ	フォンティス応用科学大学	3	学部生/大学院生	免除	2.00以上 ※プログラムにより異なる	80以上 *プログラムにより、上記以上の語学力を求められる場合があります。 *各プログラム毎の語学要件は以下のウェブページ参照。 https://www.fontys.nl/en/Study-at-Fontys/Exchange-programmes/All-exchange-programmes.htm?page=2	6.0以上 *プログラムにより、上記以上の語学力を求められる場合があります。 *各プログラム毎の語学要件は以下のウェブページ参照。 https://www.fontys.nl/en/Study-at-Fontys/Exchange-programmes/All-exchange-programmes.htm?page=2	—
	エラスムス・ロッテルダム大学 (法学部・歴史文化コミュニケーション学部)	1 (法学部)、1 (歴史文化コミュニケーション学部)	学部生のみ	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	90以上	◆法学部 6.0 (各セクション6.0) 以上 ◆歴史文化コミュニケーション学部 6.5 (各セクション6.5) 以上	—
マルタ共和国	マルタ大学	1	法学部：学部3年以上/ 大学院生	免除	2.00以上※最終的な受け入れ判断は受け入れ学部による	80 (W:20) 以上	6.0 (W:6.0, R:5.5, L:5.5, S:5.5) 以上	—
トルコ	中東工科大学	1	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	79以上	6.0以上	Medium of instruction at METU is English at all levels and all programs. Hence no other language proficiency except for English is required in professional/academic lives of the students. In their daily lives, basic level of Turkish language is suggested.
ポーランド	ウッチ大学	2	歴史文化コミュニケーション学部：学部2年以上	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	59以上 ※学部によってはこの基準よりも高い英語力が要求されることがある。	5.5以上 ※学部によってはこの基準よりも高い英語力が要求されることがある。	—
イタリア	ミラノ・ビコッカ大学	2	学部生のみ	免除	学部生2.70以上、 大学院生3.00以上	72以上	5.5以上	イタリア語 CEFR B1 以上必須
	メッシーナ大学工学部【理工学部・理工学研究科のみ】	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、 大学院生3.00以上	59以上	5.5以上	イタリア語の語学能力証明書 (様式G)
香港	香港城市大学	2	学部生/大学院生	免除	2.00以上 (法学部以外) 3.0以上 (法学部)	79以上 (法学部以外) 100以上 (法学部)	6.5 (法学部以外) 7.0 (法学部)	こちらも確認してください。https://www.admo.cityu.edu.hk/intl/international/entreq#eng
	香港大学	3	学部生/大学院生	免除	3.00以上 (economics, business 学部) 3.10以上 (法学部) 2.00以上 (その他)	TOEFL iBT93以上 (Faculty of Law 以外に出願する場合)、TOEFL97以上 (Faculty of Law に出願する場合) TOEFL ITP test は不可	法学部に出願する場合：7.0 (with no subtest below 6.5) 法学部以外に出願する場合：An overall band of 6.5 or better in IELTS Academic Module in the same attempt (within 2 years after the test date)	—
	嶺南大学	2	学部生/大学院生	免除	2.50以上	79以上	6.0以上	
インドネシア	インドネシア大学	1	学部生のみ	免除	3.0以上	80	6,5	Bahasa Indonesia Certificate/TIBA Test Result (required to join Regular Program)
	ガジャマダ大学	2	学部生のみ	免除	3.0以上	70以上	5.5以上	—
タイ	タマサート大学	1	学部生のみ	免除	備考欄を確認してください	61-80 (備考欄を確認して下さい)	5.5-6.5 (備考欄を確認して下さい)	
	チュラロンコン大学経済学部【経済学部のみ】	2	学部生/大学院生	免除	3.00以上	94以上	7.0以上	
	バンヤビワット経営大学	2	学部生のみ	免除	2.0以上	59以上	5.5以上	
マレーシア	ウタラマレーシア大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生3.00以上	59以上	5.5以上	



国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
マレーシア	マレーシア科学大学	3	学部生/大学院生	免除	学部生2.0以上、大学院生3.0以上	79以上	5.5以上	
	マラヤ大学	2	学部生	免除	3.00以上	80以上	6.0以上	
シンガポール	シンガポール・マネジメント大学	2	学部生のみ	免除	学部生2.0以上、大学院生3.0以上	TOEFL iBT (internet-based test): 93, Min. of 22 (reading) & 22 (writing) We do accept an endorsement letter from the home university, confirming that the student has sufficient English language knowledge to successfully complete their exchange programme at SMU.	International English Language Testing Systems (IELTS): 7.0, Min. of 7.0 (reading) & 6.5 (writing)	
	南洋理工大学人文社会科学部	1	学部生/大学院生	免除	3.0以上	90	6 (Overall) and 6 (Writing)	—
フィリピン	フィリピン大学ディリマン校	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.0以上、大学院生3.0以上	61	5.5以上	
カンボジア	王立プノンペン大学【総合政策学部・総合政策研究科のみ】	2	学部生/大学院生	免除	学部生3.0、大学院生3.0	70	5.5	特になし

主たる授業使用言語「ドイツ語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
ドイツ	ヴェルツブルク大学	5	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	◆語学科目履修の場合 CEFR A2レベル <必要証明書> ・ドイツ語技能検定試験3級 (CEFR A2) 以上の「合格証書」及び2級 (CEFR B1) 以上の「試験結果通知表」 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR A2) 以上 ・Test DaF (CEFR A2) 以上 ※留学生は語学科目 (B1 レベル) を履修し合格した場合、次学期に専門科目を履修することが可能です。 ◆専門科目履修の場合 CEFR B 1 レベル〜 (証明書が必要) <必要証明書> ・ドイツ語技能検定試験2級 (CEFR B1) 以上 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR B1) 以上 ・Test DaF (CEFR B1) 以上
	オスナブリュック大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	72以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	5.5以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	CEFR A2レベル <必要証明書> ・ドイツ語技能検定試験3級 (CEFR A2) 以上の「合格証書」及び2級 (CEFR B1) 以上の「試験結果通知表」 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR A2) 以上 ・Test DaF (CEFR A2) 以上
	テュービンゲン大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	72以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	5.5以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	◆語学科目履修の場合 CEFR A2レベル <必要証明書> ・ドイツ語技能検定試験3級 (CEFR A2) 以上の「合格証書」及び2級 (CEFR B1) 以上の「試験結果通知表」 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR A2) 以上 ・Test DaF (CEFR A2) 以上 ※留学生はThe Department of German as a Foreign Language に所属となります。但し、語学科目 (B1 レベル) を履修し合格した場合、次学期に専門科目を履修することが可能です。 ◆専門科目履修の場合 CEFR B1 レベル〜 ※B1 レベルの証明書は不要となりますが、本学の交換留学申し込みに際しては上記語学科目履修と同様の証明書 (A 2 以上) を提出してください ※学科によりB1 レベルの証明書が必要となります https://uni-tuebingen.de/en/international/study-in-tuebingen/erasmus-and-exchange-to-tuebingen/application-and-preparation/#c1810849
	ベルリン自由大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	CEFR A2レベル <必要証明書> ・ドイツ語技能検定試験3級 (CEFR A2) 以上の「合格証書」及び2級 (CEFR B1) 以上の「試験結果通知表」 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR A2) 以上 ・Test DaF (CEFR A2) 以上 ※留学開始までにドイツ語能力をB1 (人文社会科学系はB2) レベルへ高めておくことを推奨
	ミュンスター大学	2 (※備考欄参照)	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	72以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	5.5以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	<全学部> CEFR B1 レベル <必要証明書> 以下いずれかの証明書を提出 ・ドイツ語技能検定試験：2級 (CEFR B1) 以上 ・ゲーテドイツ語試験：CEFR B1 以上 ・Test DaF：CEFR B1 以上 <法学部 (法律学)> ※本学法学部法律学科の学生のみ対象 語学要件なし。但し、語学能力証明書 (本学所定様式) の提出が必要となります
	ミュンヘン大学 法学部【法学部のみ】	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	CEFR B1 レベル <必要証明書> 以下いずれかの証明書を提出 ・ドイツ語技能検定試験2級 (CEFR B1) 以上 ・ゲーテ・ドイツ語検定試験 (CEFR B1) 以上 ・Test DaF (CEFR B1) 証明書 ※ただし、留学開始時にはCEFR Level B2 以上である必要があります。

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
ドイツ	アーヘン工科大学土木工学部・機械工学部【理工学部・理工学研究科のみ】	3	学部生3年以上/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	59以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	5.5以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はドイツ語で行われています	◆Earth Science and Geography 以外 CEFR B1 レベル 以下いずれかの証明書を提出 ・ドイツ語技能検定試験：2級 (CEFR B1) 以上 ・ゲーテドイツ語試験：CEFR B1 以上 ・Test DaF：CEFR B1 以上 ◆Earth Science and Geography CEFR B2 レベル 以下いずれかの証明書を提出 ・ドイツ語技能検定試験：準1級 (CEFR B2) 以上 ・ゲーテドイツ語試験：CEFR B2 以上 ・Test DaF：CEFR B2 以上

主たる授業使用言語「フランス語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
フランス	エクス・マルセイユ大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	英語でのコースを受ける場合 ◆Faculty of Arts, Letters, Languages, and Humanities (ALLSH)：C1 (TOEFL 95) 以上 ◆その他の分野 (Law and Political Science, Economics and Management, Science and technology)：B2 (TOEFL 72) 以上 Please note that a B1 level in French is required at the Faculty of Law for students who take English-taught courses. ※英語で行われる科目が少ないため、英語科目のみを受講する留学は不可。	英語でのコースを受ける場合 ◆Faculty of Arts, Letters, Languages, and Humanities (ALLSH)：C1 (IELTS 7.0) 以上 ◆その他の分野 (Law and Political Science, Economics and Management, Science and technology)：B2 (IELTS 5.5) 以上 Please note that a B1 level in French is required at the Faculty of Law for students who take English-taught courses. ※英語で行われる科目が少ないため、英語科目のみを受講する留学は不可。	◆Full Academic： 仏語：B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 ※B2 (DELF, TCF, 仏検準1級) 以上が望ましい。 ※B1 (DELF, TCF, 仏検2級) の場合、履修できるコースが限定される。 ◆SUL (語学機関、University Centre for Global Languages) 仏語：A2 (DELF, TCF または仏検準2級) 以上 ※仏語A2レベルの場合、秋学期はSUL 所属でB1 レベル語学科目を受講し合格すれば、春学期は学部所属で専門科目受講となります。現地で修得した語学科目の本学での単位認定については、学部により取り扱いが異なるため、予め所属学部にご確認ください。
	トゥールーズ-ジャンジョレス大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	◆DEFLE (語学機関、The department of French as Foreign Language offers courses for non-native French speakers in order to improve their knowledge of the French language) 仏語：A2 (DELF, TCF または仏検準2級) 以上 ◆その他の機関 (専門科目履修) 仏語：B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 ※仏語A2レベルの場合、秋学期はDEFLE 所属でB1 レベル語学科目を履修し合格すれば、春学期は学部所属で専門科目受講となります。現地で修得した語学科目の本学での単位認定については、学部により取り扱いが異なるため、予め所属学部にご確認ください。
	パリ・ナンテル大学	2	学部3年以上/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	学部生：仏語B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 大学院生：仏語B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上
	パリ シテ大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	◆英語でのコースを受ける場合：90 以上 英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。英語で提供される科目を履修したい場合は早めに国際センターに相談すること。	◆英語でのコースを受ける場合：5.5 以上 英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。英語で提供される科目を履修したい場合は早めに国際センターに相談すること。	仏語：B1 以上 (DELF または TCF の証明書が必要) ※B2 以上が望ましい ※履修するコースによってはB2 以上が必須の場合あり。
	リュミエール・リヨン第2大学	3	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	—	—	仏語：B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 ※B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上が望ましい ※B1 (DELF, TCF または仏検2級) の場合、履修できるコースが限定される
	リヨン政治学院	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	◆英語でのコースを受ける場合：72 以上 ※英語で提供されるプログラム：DFES https://www.sciencespo-lyon.fr/etudiant-en-echange/ 英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。	◆英語でのコースを受ける場合：5.5 上 ※英語で提供のプログラム：DEFS https://www.sciencespo-lyon.fr/etudiant-en-echange/ 英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。	仏語：B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 ※B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上が望ましい ※B1 (DELF, TCF または仏検2級) の場合、履修できるコースが限定される。
	トゥール大学	4	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	◆英語でのコースを受ける場合 72 以上 ※英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。	◆英語でのコースを受ける場合 5.5 以上 ※英語で提供される科目は、科目数が限定されているため、よく確認すること。	仏語：B1 (仏検2級) 以上 ※B2 (仏検準1級) 以上が望ましい ※B1 (仏検2級) の場合、Faculty of Letters and Languages の科目を履修することになり、履修できる科目が限定される。
	ソルボンヌ・パリ・ノール大学	2	学部生/大学院生	免除	※ソルボンヌ・パリ・ノール大学の学部により異なる。最終的な受け入れ可否は受け入れ学部が決定する。	—	—	◆ほとんどの分野 学部生：仏語B1 (DELF, TCF または仏検2級) 以上 ※B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上が望ましい ※B1 (DELF, TCF または仏検2級) の場合、履修できるコースが限定される。 大学院生：仏語B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上 ◆Letters, Languages, Human Sciences and Societies (LLSHS) 学部生：仏語B1 (DELF) 以上 大学院生：仏語B2 (DELF) 以上
	ストラスブール大学	2	学部生/大学院生	免除	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	Business School (EM Strasbourg) での受け入れはなし。	Business School (EM Strasbourg) での受け入れはなし。	◆Performing and Visual Arts：仏語：C1 (DELF, TCF または 仏検1級) 以上 ◆Letters：学部生 B2 (DELF, TCF または仏検準1級) 以上 / 大学院生 C1 (DELF, TCF または 仏検1級) 以上 ◆Philosophy：仏語：B2 (DELF, TCF または 仏検準1級) 以上 Please make sure to contact the international academic coordinator in the faculty to confirm the language requirement for each program. https://www.unistra.fr/international/partira-international/etudiants/correspondants-relations-internationales-dans-les-facultes-ecoles-instituts



国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
フランス、イギリス、アイルランド	イーエム・ノルマンディー・ビジネススクール	5	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.20 以上	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 (第 2・3 学年のコース) : 72 以上 大学院生 (第 4・5 学年のコース) : 83 以上 ※キャンパスが 5 つ (Caen, Le Havre, Paris<フランス> /Oxford<イギリス> /Dublin<アイルランド>) がある。1 セメスター中は 1 つのキャンパスにて授業を履修すること。プログラム (授業) やレベルによって履修するキャンパスが異なる。	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 (第 2・3 学年のコース) : 5.5 (各々 5.0) 以上 大学院生 (第 4・5 学年のコース) : 6.0 (各々 5.0) 以上 ※キャンパスが 5 つ (Caen, Le Havre, Paris<フランス> /Oxford<イギリス> /Dublin<アイルランド>) がある。1 セメスター中は 1 つのキャンパスにて授業を履修すること。プログラム (授業) やレベルによって履修するキャンパスが異なる。	フランス語でのコースを受ける場合: 学部生、大学院生 -DELF, TCF の B2 レベル
						◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor : 80 以上、Pre Master / Master in Management Year 1: 80 以上 大学院生 Master in Management Year 2 / MSc : 80 以上 ※学部生も Pre Master または Master in Management Year 1 のプログラムを履修可能 ※Pre Master はビジネス専攻でない学生用のプログラム	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor : 6.0 以上、Pre Master / Master in Management Year 1: 6.0 以上 大学院生 Master in Management Year2/MSc : 6.5 以上 ※学部生も Pre Master または Master in Management Year 1 のプログラムを履修可能 ※Pre Master はビジネス専攻でない学生用のプログラム	仏語: B2 (DELf, TCF または仏検準 1 級) 以上
フランス	バガンディ・スクール・オブ・ビジネス	1	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.00 以上	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor : 80 以上、Pre Master / Master in Management Year 1: 80 以上 大学院生 Master in Management Year 2 / MSc : 80 以上 ※学部生も Pre Master または Master in Management Year 1 のプログラムを履修可能 ※Pre Master はビジネス専攻でない学生用のプログラム	◆英語でのコースを受ける場合 学部生 Bachelor : 6.0 以上、Pre Master / Master in Management Year 1: 6.0 以上 大学院生 Master in Management Year2/MSc : 6.5 以上 ※学部生も Pre Master または Master in Management Year 1 のプログラムを履修可能 ※Pre Master はビジネス専攻でない学生用のプログラム	仏語: B2 (DELf, TCF または仏検準 1 級) 以上
						◆英語でのコースを受ける場合: 72 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆英語でのコースを受ける場合: 5.5 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆Full Academic : 仏語: B2 (DELf,TCF または仏検準 1 級) 以上 ◆French and English Literature : 仏語: C1 (DELf,TCF または仏検 1 級) 以上 ◆仏語・文化コース (ECOLE DE LANGUE ET DE CIVILISATION FRANÇAISES) : 仏語: A2 (DELf,TCF または仏検準 2 級) 以上
スイス	ジュネーブ大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.67 以上、大学院生 3.00 以上	◆英語でのコースを受ける場合: 72 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆英語でのコースを受ける場合: 5.5 (B2) 以上 ※英語で提供される科目は、分野と科目数が限定されるため、よく確認すること。	◆Full Academic : 仏語: B2 (DELf,TCF または仏検準 1 級) 以上 ◆French and English Literature : 仏語: C1 (DELf,TCF または仏検 1 級) 以上 ◆仏語・文化コース (ECOLE DE LANGUE ET DE CIVILISATION FRANÇAISES) : 仏語: A2 (DELf,TCF または仏検準 2 級) 以上
	西スイス応用科学大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.00 以上 ※大学院生は備考参照	—	—	仏語: B2 (DELf, TCF または仏検準 1 級) 以上
ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学サントルイブリュッセル校	2	学部生のみ	免除	2.00 以上	◆法学部: 72 以上 ◆その他の学部: 59 以上	◆法学部: 5.5 以上 ◆その他の学部: 5.5 以上	◆法学部: 仏語 B2 (DELf, TCF または仏検準 1 級) 以上 ◆その他: 仏語 B1 (DELf, TCF または仏検 2 級) 以上
	ブリュッセル自由大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.00 以上	—	—	仏語: B1 (DELf, TCF または仏検 2 級) 以上 ※B2 (DELf, TCF または仏検準 1 級) 以上が望ましい

主たる授業使用言語「中国語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
中国	廈門大学	2	学部生のみ	免除	学部生 2.5 以上	80 以上	6.0 以上	HSK band 5 with a score of 210 or higher For Sciences, Engineering and Medicine programs, HSK band 4 with a score of 210 or above is required.
	上海理工大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上	—	—	中国語の資格試験のスコア (HSK 等) または語学能力証明書 (様式 D)
	重慶大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 3.00 以上、大学院生 3.00 以上	For English-taught major programs (Master and PhD), TOEFL Internet-based 80 or equivalent is required.	For English-taught major programs (Master and PhD), IELTS 6.0 or equivalent is required.	For Chinese-taught major programs: Bachelor - HSK 4 (210) or equivalent is required; Master and PhD- HSK level 5 (180) or other Chinese language proficiency proof. Some programs require HSK 6 or above;
	中央民族大学	1	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	—	—	HSK5 級以上
	南開大学	1	学部生 / 大学院生	免除	3.0 以上	—	—	HSK 4 級程度 (希望する学生は語学要件について事前に国際センターまで問い合わせてください) 上
	華東政法大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	—	—	HSK 5 級程度 (希望する学生は語学要件について事前に国際センターまで問い合わせてください)
	清華大学	1	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	—	—	HSK5 級以上
	武漢大学歴史学院【文学部・文学研究科のみ】	3	学部生 / 大学院生	免除	GPA 要件については学部により異なるので、交換留学希望学生は中央大学国際センターに問い合わせてください。	—	5.5 以上	HSK5 級以上
	国立政治大学	2	学部生 / 大学院生	免除	2.75 以上	80 以上	6.0 以上	HSK4 級以上
台湾	国立中央大学	2	学部生 / 大学院生	免除	プログラムによって異なるが、2024 年度秋派遣は 2.8 以上 (参考)	59 以上	5.5 以上	中国後の資格試験のスコア (HSK 等) または語学能力証明書 (様式 D)
	東吳大学	1	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	59 以上	5.5 以上	中国後の資格試験のスコア (HSK 等) または語学能力証明書 (様式 D) CEFR B1 レベルが望ましい。
	南台科技大学	1	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	59 以上	5.5 以上	中国語 HSK (新漢語水平考試) 6 級以上
	国立中山大学	4	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	59 以上	5.5 以上	中国後の資格試験のスコア (HSK 等) または語学能力証明書 (様式 D)
	国立高雄師範大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	—	—	中国後の資格試験のスコア (HSK 等) または語学能力証明書 (様式 D)

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
台湾	国立台北大学法律学院【法学部・法学研究科のみ】	2	学部生 / 大学院生	免除	2.75 以上	72 以上	5.5 以上	HSK6 級以上
	国立台湾大学法律学院【法学部・法学研究科のみ】	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.0 以上、大学院生 3.0 以上	59 以上	5.5 以上	HSK 5 級以上 (この大学を希望する学生は、中央大学国際センターまで一度連絡してください)
	国立暨南国際大学人文学院【文学部・文学研究科のみ】	2	学部生 / 大学院生	免除	プログラムによって異なるので、希望者は事前に国際センターに問い合わせてください。	79 以上	5.5 以上	HSK 5 級以上

主たる授業使用言語「スペイン語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
スペイン	アリカンテ大学	1	学部生のみ	免除	2.00 以上	72 以上 ※英語での授業を受講する場合 ※英語での授業 (科目) は限定されているため、よく確認すること。	5.5 以上 ※英語での授業を受講する場合 ※英語での授業 (科目) は限定されているため、よく確認すること。	※CEFR B1 推奨 次の要件を全て満たす必要があります。 ① 学内応募時点で、スペイン語の基礎を習得しており、かつ、優秀な成績を収めていること。 ② スペイン語技能検定試験、DELE 等を受験している場合はその写しを提出。ただし、いずれの試験の結果も提出できない場合は、本学教員によるスペイン語の能力に関する「語学能力証明書 (所定様式)」を提出。 ※なお、特定の協定校に募集人数を超える応募者が集中する場合、「スペイン語基礎学力試験」を実施します。詳細は募集要項 11 頁にて必ずご確認ください。
	コルドバ大学	1	学部生のみ	免除	2.00 以上	72 以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はスペイン語で行われている。英語での授業 (科目) は限定されているため、よく確認すること。	5.5 以上 ※英語での授業を受講する場合 ※ほとんどの授業はスペイン語で行われている。英語での授業 (科目) は限定されているため、よく確認すること。	※CEFR B2 以上推奨 次の要件を全て満たす必要があります。 ① 学内応募時点で、スペイン語の基礎を習得しており、かつ、優秀な成績を収めていること。 ② スペイン語技能検定試験、DELE 等を受験している場合はその写しを提出。ただし、いずれの試験の結果も提出できない場合は、本学教員によるスペイン語の能力に関する「語学能力証明書 (所定様式)」を提出。 ※なお、特定の協定校に募集人数を超える応募者が集中する場合、「スペイン語基礎学力試験」を実施します。詳細は募集要項 11 頁にて必ずご確認ください。
	サマランカ大学	5	学部生のみ	※納入	2.00 以上	—	—	※CEFR B1 以上推奨 次の要件を全て満たす必要があります。 ① 学内応募時点で、スペイン語の基礎を習得しており、かつ、優秀な成績を収めていること。 ② スペイン語技能検定試験、DELE 等を受験している場合はその写しを提出。ただし、いずれの試験の結果も提出できない場合は、本学教員によるスペイン語の能力に関する「語学能力証明書 (所定様式)」を提出。 ※なお、特定の協定校に募集人数を超える応募者が集中する場合、「スペイン語基礎学力試験」を実施します。詳細は募集要項 11 頁にて必ずご確認ください。
	サンティアゴ・デ・コンボステラ大学	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.00 以上	—	—	※CEFR B1 以上必須 以下いずれかの証明書を提出 < Spanish language and Literature and some Master's degrees 以外 > ・スペイン語技能検定試験 3 級 (CEFR B1) 以上 ・ DELE (CEFR B1) 以上 ・ 語学能力証明書 (B1 を証明、本学所定様式) など < Spanish language and Literature and some Master's degrees> ・ スペイン語技能検定試験 2 級 (CEFR B2) 以上 ・ DELE (CEFR B2) 以上 ・ 語学能力証明書 (B2 を証明、本学所定様式) など
	メキシコ国立自治大学 (UNAM)	2	学部生のみ	免除	3.20 以上	—	—	・ SIELE B2 以上または DELE B2 以上
メキシコ	メキシコ自治工科大学 (ITAM)	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 2.00 以上、大学院生 3.00 以上	92 以上 ※英語での授業を受講する場合	6.5 以上 ※英語での授業を受講する場合	・ CEFR B2 以上推奨 次の要件を全て満たす必要があります。 ① 学内応募時点で、スペイン語の基礎を習得しており、かつ、優秀な成績を収めていること。 ② スペイン語技能検定試験、DELE 等を受験している場合はその写しを提出。ただし、いずれの試験の結果も提出できない場合は、本学教員によるスペイン語の能力に関する「語学能力証明書 (所定様式)」を提出。

主たる授業使用言語「インドネシア語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	GPA 要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
インドネシア	ハサスディン大学文化科学学部【総合政策学部・総合政策研究科のみ】	2	学部生 / 大学院生	免除	学部生 3.0、大学院生 3.0	—	—	・ インドネシア能力を証明する書類 (インドネシア語の成績・インドネシア語能力試験など) ・ 学部専任教員の推薦状を提出すること ・ 出願希望者は事前に総合政策学部事務室に相談すること

9. Chuo University rules and regulations

(参考) 国外留学にかかる中央大学学則・規則等

2025年度 春派遣協定校別募集条件一覧(実績)

- 2024年5月発行の「2025年度春派遣長期留学募集要項」に掲載した協定校別募集条件の一部情報を記載しています。詳細な情報は下記サイトの「2025年度長期留学春派遣交換留学協定校別募集条件」をご確認ください。
- 春派遣長期留学の募集要項は毎年4月頃に発行します。派遣先大学や各大学の募集条件等は変更されることがあります。長期留学の応募を考えている人は必ず最新の募集要項を確認してください。



主たる授業使用言語「英語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	授業使用言語	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
	アデレード大学	3	学部生/大学院生	免除	英語	2.50以上	◆Most programs 79(R13,L13,S18,W21)以上 ◆Education 94(R24,L24,S23,W27)以上 ◆Law 94(R20,L20,S23,W27)以上 ◆Animal and Veterinary Science 94(R24,L24,S23,W27)以上	◆Most Programs 6.5(各セクション6.0)以上 ◆Education 7.0(各セクション7.0)以上 ◆Law 7.0(W7.0, S7.0, R6.5, L6.5)以上 ◆Animal and Veterinary Science 7.0(各セクション7.0)以上	—
	スウィンバーン工科大学	2	学部生/大学院生	免除	英語	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	60(R10,L9,S16,W19)以上	6.0(各セクション5.5)以上	—
オーストラリア	西オーストラリア大学	2	学部生/大学院生	免除	英語	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	◆Law 100(R26,L26,S28,W26)以上 ◆Most programs 82(R18,L20,S20,W22)以上	◆Law 7.0(各セクション6.5)以上 ◆Most programs 6.5(各セクション6.0)以上	—
	ニューサウスウェールズ大学	4※(備考欄参照)	学部生/大学院生	免除	英語	3.00以上	*コースにより語学要件が異なります。次のリンク先の情報を必ずご確認ください。 https://goo.gl/3WM6MF	*コースにより語学要件が異なります。次のリンク先の情報を必ずご確認ください。 https://goo.gl/3WM6MF	—
	フリンドース大学	1	学部生/大学院生	免除	英語	2.30以上	◆Law 100(R26,L26,S28,W26)以上 ◆Most programs 82(R18,L20,S20,W22)以上 ◆Education/Social Work 94(R24,L24,S23,W27)以上	◆Law 7.0(各セクション6.5)以上 ◆Most programs 6.5(各セクション6.0)以上	—
	西シドニー大学	4	学部生/大学院生	免除	英語	2.00以上	◆Law 100(R26,L26,S28,W26)以上 ◆Most programs 82(R18,L20,S20,W22)以上 ◆Education/Social Work 94(R24,L24,S23,W27)以上	◆Law 7.0(各セクション6.5)以上 ◆Most programs 6.5(各セクション6.0)以上	—

主たる授業使用言語「韓国語」の大学

国名	大学名	募集人数	募集対象	留学先学費	授業使用言語	GPA要件	TOEFL(iBT)	IELTS(Academic)	その他
韓国	漢陽大学	1	学部生のみ	免除	韓国語、英語	2.40以上	<英語での授業を受講する場合> 72以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> TOPIK：3級以上
	建国大学	1	学部生/大学院生	免除	韓国語、英語	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	<英語での授業を受講する場合> 59以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> 次のいずれかの証明書を提出 ・TOPIK：3級以上が望ましい ・語学能力証明書(様式D)
	淑明女子大学	2	学部生/大学院生	免除	韓国語、英語	2.80以上	<英語での授業を受講する場合> 71以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> TOPIK：3級以上
	仁荷大学	1	学部生/大学院生	免除	韓国語、英語	学部生2.25以上、大学院生2.22以上	<英語での授業を受講する場合> 71以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> ◆Korean Language and literature Undergraduate:TOPIK3級以上 Master Level :TOPIK4級以上 Doctor Level :TOPIK5級以上
	成均館大学	2	学部生/大学院生	免除	英語、韓国語	2.50以上	<英語での授業を受講する場合> 80以上	<英語での授業を受講する場合> 6.0以上	<韓国語での授業を受講する場合> TOPIK3級以上
	檀國大学	2	学部生のみ	免除	韓国語、英語	学部生2.00以上、大学院生3.00以上	<英語での授業を受講する場合> 59以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> 次のいずれかの証明書を提出 ・TOPIK：3級以上が望ましい ・語学能力証明書(様式D)
	中央大学	2	学部生/大学院生	免除	韓国語、英語	2.00以上	<英語での授業を受講する場合> 59以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> 次のいずれかの証明書を提出 ・TOPIK：3級以上が望ましい ・語学能力証明書(様式D)
	梨花女子大学	2	学部生/大学院生	免除	韓国語、英語	2.50以上	<英語での授業を受講する場合> 59以上	<英語での授業を受講する場合> 5.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> 次のいずれかの証明書を提出 ・TOPIK：3級以上が望ましい ・語学能力証明書(様式G)
	慶熙大学	2	学部生のみ	免除	韓国語、英語	3.00以上	<英語での授業を受講する場合> 82以上	<英語での授業を受講する場合> 6.5以上	<韓国語での授業を受講する場合> TOPIK：4級以上 (Management School) TOPIK：3級以上 (Management School以外)

中央大学学則(抜粋)

(他の大学における授業科目の履修)

第27条の2本大学は、教育上有益と認めるときは、別に定める細則により学生が他の大学の授業科目を履修することを許可することができる。

(留学)

第27条の3前条の規定は、学生が外国の大学へ留学する場合に準用する。

(他の大学において修得した単位)

第35条の2第27条の2の規定により履修した授業科目について修得した単位は、60単位を超えない範囲で各教授会が定めるところにより、本大学において修得したものとみなすことができる。

(外国の大学において修得した単位)

第35条の3前条の規定は、学生が外国の大学に留学する場合に準用する。

中央大学大学院学則(抜粋)

(留学)

第25条の2本大学の定めに従って外国の大学院又はそれに準ずる高等教育・研究機関で、研究又は修業を志願する者は、学長の許可を得て留学することができる。

2 許可を得て留学した者が、外国の大学院で履修した授業科目について修得した単位は、15単位(法学研究科、経済学研究科、商学研究科、文学研究科及び総合政策研究科の博士課程の後期課程にあっては、4単位)を超えない範囲で、本大学院において修得したものとみなし、博士課程の前期課程若しくは修士課程又は博士課程の後期課程の修了に必要な単位数に算入することができる。

3 留学の手続その他実施の細目は、別に定める。

中央大学学生国外留学に関する規程(規程第707号)

(趣旨)

第一条 この規程は、中央大学学則第二十七条の三及び大学院学則第二十五条の二第三項に基づき、中央大学(以下「本学」という。)学生の国外への留学に関し、必要な事項を定める。

(留学の定義)

第二条 本学における留学とは、この規程で定める認定留学及び交換留学、並びに別に定める国外短期留学及びダブルディグリー留学をいう。

2 認定留学とは、研究又は修学の必要から本学の許可を得て、外国の大学又はそれに相当する高等教育・研究機関において、研究に従事し又は正規の授業を受けるために行う留学をいう。

3 交換留学とは、外国の大学との協定に基づき、本学の許可を得て行う留学をいう。

4 国外短期留学とは、外国の大学との協定に基づき、本学の許可を得て一学期未満で行う留学をいう。

5 ダブルディグリー留学とは、外国の大学との協定等に基づき、ダブルディグリー・プログラムを定めて行う留学をいう。

(留学の対象大学)

第三条 留学の対象となる外国の大学は、学長が認定した学士及び学位の授与権をもつ大学又は本学と協定を結んだ大学とする。

2 大学院の学生については、前項に定める大学に相当する高等教育・研究機関を含めることができる。

(大学間協定の内容)

第四条 前条第一項に掲げる協定には次の事項を定めなければならない。

一 協定期間

二 交換又は受入れについて依頼の条件

三 履修可能な授業科目の範囲

四 交換又は受入れ学生数

五 学費及び納入方法

六 奨学制度の有無

七 その他協定の実施に必要な事項

(留学の資格)

第五条 留学できる者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

一 学部学生については、本学に一年以上在学し、かつ、在学一カ年につき二十八単位以上の単位を修得した者

二 大学院学生については、本学の大学院に一学期以上在学し、かつ、博士課程前期課程又は修士課程の学生にあつては、修得すべき授業科目六単位以上を修得した者

2 在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会が、特に研究及び教育上成果が得られると認める者については、前項の規定にかかわらず、留学できる者として扱うことができる。

(出願の手続)

第六条 留学を志望する者は、所定の留学願を在学する学部の学部長又は大学院の研究科委員長に提出しなければならない。

2 前項の留学願には、留学先、滞在予定住所、専攻学部学科、留学期間及び留学の目的を明記し、原則として、受入れ機関の入学又は聴講の許可書を添えなければならない。

(留学の許可)

第七条 留学の許可は、在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

2 学長は、留学生の受入れを外国の政府・教育機関等に依頼する。

(留学できる期間)

第八条 留学期間は、原則として一年とする。ただし、研究及び教育上成果が得られると認められる場合には、一学期以上一年未満とすることができる。

2 研究及び教育上特に必要と認められる場合は、留学期間を延長することができる。

3 留学期間の延長を希望する者は、留学期間終了の二カ月前までに、留学期間延長願を在学する学部の学部長又は大学院の研究科委員長に提出しなければならない。

4 学長は、在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、留学期間の延長を許可することができる。

5 第一項及び前項の留学期間は、修業年限に算入する。

(留学終了の手続)

第九条 認定留学生及び交換留学生は、帰国の日から一カ月以内に、所定の留学修了届に履修期間及び成績が明記されている単位取得証明書を添付し、在学する学部の学部長又は大学院の研究科委員長を経て、学長に提出しなければならない。

(修得単位の取扱い)

第十条 留学期間中に修得した授業科目の単位は、在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の定める所定の基準に基づき、本学で修得すべき授業科目の単位として認定する。

2 前項により認定する単位数は、中央大学学則第三十五条の二及び大学院学則第二十五条の二第二項の定めるところによる。

(卒業の取扱い)

第十一条 前条の単位認定によって卒業要件を備えた者は、留学期間終了の年度卒業させることができる。

(履修手続の取扱い)

第十二条 学年暦の差異によって生ずる履修手続上の取扱いについては、在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の定めるところによる。

(留学許可の取消し)

第十三条 学長は、次の各号に該当する認定留学生又は交換留学生について、学生が留学している外国の大学の学長と協議し、在学する学部の教授会又は大学院の研究科委員会の議を経て、留学の許可を取消すことができる。

一 研究又は修学の実があがらないと認められる者

二 この規程の定める義務を怠った者

三 学生査証が認められない者

四 その他、学生としての本分に反した者

(学費の減免)

第十四条 特に学力が優れている学生には、留学期間中の本学の授業料、在学料及び実験実習料を減額又は免除することができる。

2 前項の減額又は免除は、国際委員会の議を経て、学長が決定する。

3 減額又は免除の期間は、二年を限度とする。

4 減額する限は、授業料、在学料及び実験実習料の二分の一を限度とする。

5 前条の規定によって留学の許可が取り消された場合は、第二項の決定は効力を失う。

6 減額又は免除のために必要な細目は、別に定める。

(奨学)

第十五条 認定留学生及び交換留学生には、国外留学生奨学金を貸与又は給付することができる。

1 本人又は保証人の氏名、住所等に変更があったとき

2 休学、退学又は除籍されたとき

3 国外留学を取りやめたとき

4 留学期間を短縮するとき

11 奨学留学生が次の各号のいずれかに該当したときは、その資格を失う。

1 留学期間中に休学又は退学したとき

2 国外留学を取止めたとき

3 休学又は退学の処分を受けたとき

4 国外留学の許可を取消されたとき

5 所定の書類に虚偽の事実を記載したとき

6 国際委員会が奨学留学生として適当でないと認めたとき

(交換留学生への特例)

第十六条 交換留学生の取扱いについては、この細則の定めによるほか第四条に定める大学間協定の内容に基づき、特別の取扱いをすることができる。

(事務所の管)

第十七条 学生の国外留学に関する事務は、国際センター事務室が所管する。

(改正)

第十八条 この規程の改正は、教授会、大学院の研究科委員会及び国際委員会の議を経なければならない。

附則

(施行期日)

1 この規程は、昭和五十六年七月二十日から施行する。

(経過措置)

2 学生の国外留学に関する事務は、第十七条の定めにかかわらず、センター事務室が設置されるまでの間、学長室事務課が所管する。

附則(規程第八百六十八号)

この規程は、昭和五十九年四月一日から施行する。

附則(規程第千号)

(施行期日)

1 この規程は、昭和六十二年三月三十一日から施行する。

(経過措置)

2 この規程による改正後の第十四条第三項は、昭和六十年九月一日以降の留学生から適用する。

附則(規程第千二百五十五号)

(施行期日)

1 この規程は、平成四年二月二十四日から施行する。

(経過措置)

2 この規程による改正後の第五条第二号の規定は、平成三年四月一日以降の文学研究科博士課程の後期課程入学生から適用し、平成二年四月一日以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(規程第千三百五十一号)

(施行期日)

1 この規程は、平成五年四月一日から施行する。

(経過措置)

2 前項の規定にかかわらず、改正後の第五条第二号の規定は、平成五年四月一日以降の入学生から適用し、平成四年四月一日以前の入学生については、なお従前の例による。

附則(規程第千五百三十二号)

この規程は、平成九年四月一日から施行する。

附則(規程第千六百六十八号)

この規程は、平成十一年四月一日から施行する。

附則(規程第千七百五十六号)

この規程は、平成十五年四月一日から施行する。

附則(規程第千七百八十九号)

この規程は、平成十三年四月一日から施行する。

附則(規程第千九百五十三号)

この規程は、平成十五年四月一日から施行する。

附則(規程第二千七百八十八号)

この規程は、平成十七年二月七日から施行する。

附則(規程第二千四百六十四号)

この規程は、平成二十四年七月一日から施行する。

附則(規程第二千七百四十二号)

この規程は、平成三十年四月一日から施行する。

附則(規程第三千十五号)

この規程は、令和四年十月三十一日から施行する。

中央大学国外留学生奨学金の給付に関する取扱基準

- この基準は、中央大学学生国外留学に関する規程第15条に規定する国外留学生奨学金(以下、「長期留学支援奨学金」という)の給付について、必要な事項を定める。
- 長期留学支援奨学金の給付を受ける者を、奨学留学生という。
- 長期留学支援奨学金は、中央大学学生国外留学生に関する規程第2条第2項に定める交換留学生及び認定留学生を対象とする。
- 長期留学支援奨学金の給付額は申請者が所属する学部・研究科の授業料(在学料)および実験実習料を上限として、留学期間に応じて決定する。
- 長期留学支援奨学金の給付方法は、留学経費の一部として本人に給付する。
- 長期留学支援奨学金の給付期間は、留学期間1学期以上1年までとする。
- 長期留学支援奨学金の給付を申請しようとする者は、所定の書類を提出しなければならない。
- 奨学留学生は、国際委員会が出願者を審査して、決定する。
- 奨学留学生の選考は、提出書類又は面接等による審査とする。
- 奨学留学生に決定したときは、本人に通知する。
 - (2) 前項の通知を受けた者は所定の誓約書を提出しなければならない。
- 奨学留学生が次の各号のいずれかに該当したときは、速やかに届出なければならない。
 - 1) 本人又は保証人の氏名、住所等に変更があったとき
 - 2) 休学、退学又は除籍されたとき
 - 3) 国外留学を取りやめたとき
 - 4) 留学期間を短縮するとき
- 奨学留学生が次の各号のいずれかに該当したときは、その資格を失う。
 - 1) 留学期間中に休学又は退学したとき
 - 2) 国外留学を取止めたとき
 - 3) 休学又は退学の処分を受けたとき
 - 4) 国外留学の許可を取消されたとき
 - 5) 所定の書類に虚偽の事実を記載したとき
 - 6) 国際委員会が奨学留学生として適当でないと認めたとき
- 奨学留学生がその資格を辞退するときは所定の手続きをしなければならない。
- 奨学留学生がその資格を失ったとき又はその資格を辞退したときは、給付金の支給を停止する。
- 奨学留学生の資格を失った者は、給付金を返還しなければならない。ただし、相当の理由がある場合は、その全部又は一部の返還を免除することができる。
- 奨学留学生は、留学終了後に所定の報告書を提出しなければならない。
 - (2) 奨学留学生が前項の義務を怠ったときは、その資格を喪失し、相当の理由がある場合を除き、奨学金の全部または一部を返還しなければならない。
- この基準に関する事務は、国際センター事務室が所管する。この基準は、平成15年4月1日から実施する。

附則

この基準は、平成24年7月1日より実施する。この基準の実施に伴い、中央大学留学生奨学金の給付に関する取扱基準は廃止する。

附則

この基準は、平成29年1月1日より実施する。

附則

この基準は、令和4年4月1日以降の出願者より実施する。